

## 第5章 生涯学習

- 第1節 生涯学習の推進
- 第2節 社会教育の推進
- 第3節 青少年教育
- 第4節 成人教育
- 第5節 視聴覚教育
- 第6節 宮城県図書館
- 第7節 宮城県泉が岳自然の家
- 第8節 宮城県松島自然の家
- 第9節 宮城県蔵王自然の家
- 第10節 宮城県志津川自然の家

## 第1節 生涯学習の推進

社会環境の急激な変化の中にあつて、県民一人ひとりが、自己の充実や生活の向上と望ましい地域社会の形成を目指し、生涯にわたっていつでも、どこでも必要な学習ができるように、生涯学習の視点から社会の各種学習機能を総合的に整備充実し、支援者を養成するとともに、学習の機会を提供することが重要な課題である。

このため、本年度は生涯学習推進の一環として次の事業を行った。

### 1 第二次宮城県生涯学習振興計画の推進と第三次宮城県生涯学習振興計画の策定

平成13年3月に策定した「第2次宮城県生涯学習振興計画」に基づき、県民の主体的な学習活動を支援し、生涯学習環境の整備を図るとともに、平成18～22年度を計画期間とする新しい計画「第三次宮城県生涯学習振興計画」を策定した。

### 2 みやぎ県民大学推進事業

#### (1) 高等学校・専門施設・大学開放講座、自主企画講座

県民の多様な学習要求にこたえるため、高等学校、専門施設、大学、民間有志支援者団体、NPO団体の持つ専門的教育機能を活用して、一般教養・専門的知識・技能などの学習機会の提供に努めた。(第5-1表)

第5-1表 平成17年度みやぎ県民大学学校等開放講座開催状況  
高等学校開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
亘理高等学校	楽しい野菜づくり	6/18～9/17	3	29
亘理高等学校	Terragenを用いた景観CGの作成	7/23～8/6	3	11
貞山高等学校	『パソコンに親しむ』ワープロソフトを利用した作品制作	7/28～8/4	6	8
佐沼高等学校	やさしい中国語会話(初級コース)	8/20～9/24	6	22
佐沼高等学校	やさしい中国語会話(中級コース)	10/1～11/5	6	22
迫桜高等学校	パソコンソフトの活用	7/26～8/4	6	47
気仙沼西高等学校	ふれあいパソコン教室	8/19～8/24	4	28
農業高等学校	農業高校体験講座「植物バイオテクノロジーと加工食品、健康お菓子づくり」	7/2～7/30	5	20
農業高等学校秋保校	秋保校陶芸教室	7/24～11/5	3	17
中新田高等学校	シルバー世代のパソコン・デジタルカメラ活用講座(初級者用)	7/21～7/26	4	30
岩出山高等学校	初心者のためのパソコン教室	11/26～11/27	2	1
岩出山高等学校	MAP(みやぎアドベンチャープログラム)体験会	8/4～10/15	2	11
黒川高等学校	野菜と花の楽しみ講座	9/3～10/22	5	3
田尻高等学校	楽しいパソコン教室	7/23～7/24	4	10
田尻高等学校	ふゆみずたんぼに学ぶ～田尻町伸萌地区の自然を共生した稲作～	5/22～12/18	4	58
宮城広瀬高等学校	文字を染める	11/26～1/7	4	21
村田高等学校	楽しいパソコン活用教室～ワープロ検定を目指して～CAD入門～	7/21～7/28	6	15
伊具高等学校	環境にやさしい野菜の栽培	5/28～11/12	4	29
南郷高等学校	農業体験	6/25～11/19	5	22
米谷工業高等学校	デジカメ写真を加工しよう	7/30～8/7	4	16
大河原商業高等学校	やさしいパソコン講座	8/25～9/2	6	39
古川工業高等学校	科学技術の世界にふれてみませんか?	10/5～11/16	6	10
水産高等学校	宮城の海・船・魚を学ぶパートⅦ	7/16～7/24	5	20
工業高等学校	パソコンのメンテナンス入門	7/30～8/7	4	3
柴田農林高等学校	農業高校体験講座	7/24～10/23	4	25
鹿島台商業高等学校	初歩から学ぶアプリケーション講座	9/5～9/12	5	15
涌谷高等学校	かな書道講座-基礎から創作へ好きな句・歌を書けるようになるために-	7/22～8/10	6	10
盲学校	パソコン点訳講座	7/26～8/2	6	14
ろう学校	手話実技講座「手話コミュニケーションを身につけよう」	7/26～7/29	4	13
ろう学校	実践家具作り!家具作りを体験してみよう	8/21～9/11	4	4
常盤木学園高等学校	おしゃれ音楽散歩2005	6/17～12/2	8	90
明成高等学校	シルバー世代のパソコン講座(初級)	7/30～8/2	4	9

(27高等学校32講座)

(計672人)

### 専門施設開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
齋藤報恩自然史博物館	みちのくの風土 人と自然の共存	6/25～12/17	6	18
登米文化振興財団	舞台技術講座	6/8～7/7	6	27
マリニピア松島水族館	水族館と水の生き物をもっと知ろう	9/6～9/27	4	6
教育研修センター	お父さん・お母さんのためのカウンセリング講座	10/13～10/14	2	7
県図書館	きらめく叡智の杜を訪ねて～仙台藩貴重書の世界～	6/11～7/9	5	54

(5施設5講座)

(計112人)

大学開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
東北学院大学文学部	戦いの歴史	5/25～6/29	6	235
東北学院大学教養学部	NO SPORTS NO LIFE スポーツで自分を元気にする・地域を元気にするー	9/15～10/27	6	35
東北学院大学経済学部	歴史に見る仙台地域の市と流通	11/5～12/10	6	100
東北学院大学工学部	東北学院大学工学部開放講座	5/18～10/26	15	60
東北福祉大学	古代社会の人間観に学ぶ(古川市開催)	6/9～7/14	6	52
東北福祉大学	パソコン体験と情報支援技術ー10年後の自分のためにー	6/4～6/25	4	34
宮城学院女子大学	男の世界 / 女の世界	9/15～10/13	5	67
東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部	環境と健康～21世紀の健康学～	9/10～9/18	4	51
宮城誠真短期大学	誠真短大開放講座～健康な体づくりを求めて～	8/31～10/5	6	39
石巻専修大学	地域づくりとグローバリゼーション	5/19～8/4	12	96
仙台大学	ふるさとの自然と生活ー環境問題と健康づくりへの取組みー	6/15～7/27	7	89
尚綱学院大学・尚綱女子短期大学	いのちの教育ー誕生・育ち・充実・終焉・未来へ	9/29～12/1	6	213
宮城教育大学	生き生き子育て講座	7/20～7/22	3	47
東北大学大学院経済学研究科	東北ーその歴史と文化を探るー	9/3～10/1	5	103
東北大学大学院農学研究科	食べ物の機能性と安全性	8/18～9/15	5	66
東北大学大学院環境科学研究科	新しいくらしかたの「かたち」～環境からくらしを考える～	8/19～10/7	7	77
東北大学大学院歯学研究科	豊かな人生は歯と口の健康から	8/26～10/7	6	63
東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロンで何?ー放射線と探る原子から脳までー	8/20～8/21	2	30
東北大学環境保全センター	環境問題の本質を少し深く理解するために	8/20～9/3	6	29
東北大学流体科学研究所	流れを科学する	9/1～9/29	5	39
東北大学高等教育開発推進センター	これからの大学入試を考える	8/20～9/17	5	15

(10大学21講座)

(計1,540人)

自主企画講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
伊達なクニづくり女性委員会	みんなで考えよう!「子どもを取り巻く環境と地球環境を」～より良い環境を後世代に残すために～	9/28～10/19	3	87
NPO法人地域文化研究所小田むけ	わかりやすい防災講座ー近づく大地震に備えるー	9/11～11/12	4	46
特定非営利活動法人ふるま・ねつと・みやぎ	くすりと保健的食品	10/1～11/12	2	10
みやぎ環境教育ネットワーク	理由がわかってすぐできる!エコスタイル実践講座in古川	10/7～11/11	3	10
特定非営利活動法人みやぎ生涯学習指導・支援センター	みやぎ県民大学「塩竈カレッジ」	11/19～12/10	4	52
特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会	森林と環境	9/4～12/11	4	23
美楽アートクラブ	アートで出会いま専科!	1/14～1/28	4	34

(7団体7講座)

(計262人)

(2) 生涯学習支援者養成講座「入門編・実践編・研修大会」

県内の各市町村や社会教育機関・団体・民間等で生涯学習に意欲のある方を対象に、専門的な学習講座や演習の場を通して生涯学習有志支援者を養成するための講座を開設した。

○実施期間及び回数

入門編 1月～2月 実践編 8月～9月 各6回

研修大会 2月24日

○参加の状況

入門編 39人 実践編 21人 研修大会 28人

○受講者の活動分野

家庭教育, 成人教育, 女性教育, 青少年健全育成活動, 学習グループ活動等の指導助言

○修了者24人を, 民間有志支援者として記載した名簿を作成し, 市町村, 関係団体などに配布しその活用を努めた。

(3) 生涯学習活用出前講座

生涯学習支援者養成講座及び女性指導者養成研修事業の修了者を講師として, 参加・参画型の学習機会に対する需要の高まりに対応した学習機会を県民に提供し, 各地域における生涯学習の推進に寄与するとともに, 生涯学習成果の活用促進を図ることを通じ, 創造性豊かな社会の実現を目指すため講座を開設した。

○テーマ

ふるさと文化の継承と発展  
～みやぎの歩みと新しいみやぎの創造～

○開設市町村

本吉町(7/5～11/15) 5回 29人  
女川町(11/10～12/15) 5回 28人

3 地域社会と学校教育との協働の推進

(1) みやぎらしい協働教育推進事業

社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体で育むために, 住民が組織的に学校を支える仕組みをつくり, 地域と学校が協働した教育活動を展開した。

① 協働推進事業

・みやぎらしい協働教育推進会議の開催(知事, 県教育長, 学識経験者, 市町村長, 市町村教育長, 実践者等15人)

第1回:平成17年7月28日, 第2回:平成18年2月9日に開催

② コラボスクール推進事業

・地域と学校の協働を支える組織の構築 市町村, 学校区組織(市町村へ委託)

・コラボスクールモデル事業

(市町村へ委託: 1市町村への委託は2年間)

11市町との委託契約が結ばれ, 各市町, 各学校区に協働推進組織が設置され, 協働による教育実践が展開された。

(第5-2表)

・コラボスクール研修会の開催

協働推進研修会開催(基調講演, 事業説明, ワークショップ)

[第1回 7月14日登米合庁27人参加, 第2回 7月21日古川合庁42人参加, 第3回 8月5日県庁47人参加]

③ 起業教育推進事業

・起業教育普及セミナー

第1回 8月26日(知事対談, 事業説明)岩沼中, 457人参加  
予定(台風のため中止)

- 第2回 9月29日セミナー開催(基調講演, 事業説明, 実践発表)  
自治会館55人参加
- 第3回 2月24日起業教育・キャリア教育普及促進シンポジウム  
アエル220人参加
- ・先進校の授業の公開  
10月27日(山形県米沢市立南原中学校) 21人参加  
12月6日(仙台市立太白小学校) 150人参加
  - ・起業教育モデル事業 研究会の設置, 運営支援(補助金)  
7中学校が実践校として決定, 7研究会設立, (第5-2表)  
次年度以降の実践準備が行われた。
- ④ 情報提供事業(非予算事業)  
11月18日 みやぎらしい協働教育ホームページを新設し情報提供を行う。(事業概要, 先進事例紹介等)

第5-2表

「みやぎらしい協働教育推進事業」  
平成17年度実施市町村・実践校一覧  
(コラボスクール推進事業 平成17・18年度実施)

No.	市町村	実践校
1	角田市	北郷小学校
		西根小学校
		横倉小学校
2	七ヶ宿町	関小学校
3	多賀城市	多賀城東小学校
4	山元町	山下小学校
5	大和町	鶴巣小学校
6	色麻町	清水小学校
7	美里町	練牛小学校
8	栗原市	尾松小学校
9	登米市	加賀野小学校
10	女川町	女川第二小学校
11	気仙沼市	白山小学校

(起業教育推進事業 平成17・18・19年度実施)

No.	市町村	実践校
1	蔵王町	円田中学校
2	山元町	坂元中学校
3	大崎市	古川西中学校
4	栗原市	栗駒中学校
5	登米市	東和中学校
6	石巻市	住吉中学校
7	気仙沼市	小原木中学校

4 生涯学習情報提供システム整備事業

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため, 生涯学習に関する各種の情報を収集・更新し, インターネット上で提供するとともに, 生涯学習に関する情報交換の場を提供するため, 電子会議室「みんなの広場」も運営している。

5 生涯学習相談事業

県民の主体的な生涯学習活動を支援するため, 生涯学習相談員を配置し, 生涯学習に関する相談に応じるとともに情報の提供を行った。

(1) 事業内容

○相談時間 火～日曜日 午前10時～午後4時

(2) 利用状況

○相談実日数 284日

相談件数・相談内容・相談時間(第5-3表)

○相談者の性別・年齢・居住地・情報媒体(第5-4表)

6 生涯学習機能拡充事業

各種学習情報の収集と情報提供や先駆的な専門研修, 相談調査, 研究事業を実施し, 本県生涯学習の振興に向けた推進体制の整備・拡充・強化を図った。

(1) 社会教育主事専門研修事業

1市3町1施設から6名の社会教育主事が, 特別研究員として5名の県内大学研究者の指導のもと, それぞれの自治体等が抱える課題について研究(研修)を実施し, 課題解決の方策をまとめた。研修成果は生涯学習課のホームページで公開した。

(2) 生涯学習・社会教育プログラム開発推進事業

5名のアドバイザーを構成員とするプログラム開発会議を6回実施した。2町の協力によりモデル実践を実施した。事業成果を, 発表会やホームページで公開した。

(3) 生涯学習・社会教育調査研究事業

生涯学習課のホームページ内に, 先進事例や人材紹介をするページを新設し, 市町村等への情報発信を実施した。県事業のコラボスクール推進事業や起業教育推進事業の先進的な実践紹介を中心とし, 市町村, 実践者等に役立つ情報発信となった。

平成17年度「生涯学習相談」相談件数・内容・時間  
第5-3表

項目	区分		
	電話相談	面接相談	合計
相談件数	274	1,590	1,864

相談内容	件数	構成比 (%)
学習機会・イベント	621	33.3
施設・場所	146	7.8
団体・グループ	113	6.1
講師・指導者	117	6.3
資格	42	2.3
情報源	397	21.3
その他	428	23.0
計	1,864	100.0
相談時間合計 (分)	23,463	
一件当たり平均 (分)	12.6	
相談実日数 (日)	284	
一日当たり相談件数 (件)	6.6	
入室者数 (人)	5,499	
一日当たり平均 (人)	19.4	

第5-4表 相談者の性別・年齢・居住地及び情報媒体

相談者の性別	区分		件数	構成比 (%)
	男	女		
相談者の性別	男		1,158	62.1
	女		706	37.9
	計		1,864	100.0
相談者の年齢	9歳未満		1	0.1
	10～19歳		41	2.2
	20～29歳		148	7.9
	30～39歳		285	15.3
	40～49歳		202	10.8
	50～59歳		424	22.7
	60歳以上		763	40.9
計		1,864	100.0	
相談者の居住地	仙台市		1,530	82.1
	仙台管内		138	7.4
	大河原管内		17	0.9
	古川管内		31	1.7
	栗原管内		4	0.2
	登米管内		29	1.6
	石巻管内		12	0.6
	志津川管内		12	0.6
	県外		37	2.0
不明		54	2.9	
計		1,864	100.0	
情報媒体	県政だより		26	1.4
	チラシなど		373	20.0
	新聞・テレビ・ラジオ		1	0.1
	広報・パンフレット		1	0.1
	すこやか		0	0.0
	電話帳		40	2.1
	県庁案内 その他		2 1,421	0.1 76.2
計		1,864	100.0	

## 第2節 社会教育の推進

### 1 市町村の社会教育行政

生涯学習社会に向けて、地域住民と直接的な関わりをもつ市町村の果たす役割は大きく、社会教育の推進体制の充実が強く望まれている。

特に、指導体制の強化を図るため、社会教育主管課の設置と職員の適正配置・専任化を促進するとともに、社会教育主事の派遣を行った。

(1) 平成17年12月現在、社会教育主管課の設置状況は、36市町村で82%となっている。

(2) 市町村社会教育関係職員数は、教委事務局470人・公民館職員1,156人（職員の専任561人）・図書館職員247人・視聴覚教材センター職員51人の計1,924人で、前年度を下回っている。なお、市町村における社会教育主事の配置率は93%である。また、社会教育指導員の配置市町村は28市町村で55人と減少傾向になっている。（第5-5表参照）

町村の要請に応じて県教委任命の社会教育主事19人を11町2広域行政事務組合、合併支援のため4市（七ヶ宿・柴田・丸森・山元・大和・七ヶ浜・大郷・色麻・加美・歌津・涌谷・大崎広域・石巻広域・栗原市（2）登米市（2））に派遣し、町村の社会教育行政における指導体制の充実強化を図った。

(3) 社会教育委員は全市町村に設置されており、448人で1教委当たり10.2人となっている。

(4) 公民館等は258館・職員1,156人で1館平均4.5人と減少している。公民館運営審議会は19市町村に設置され、253人が配置され

ている1市町村平均13.3人となっている。社会教育委員と兼任しているのは15市町村である。

県市町立図書館は30館あり、専任職員は248人（司書、司書補88人）1館平均8.3人となっている。

第5-5表 社会教育関係職員数 (単位：人)

教育事務所等	市教委 町村等数	社会教育主事				公民館職員			
		専任	派遣	兼任	計	専任	兼任	その他	計
大河原	9	13	3	0	16	34	44	93	171
仙台	13	18	4	5	27	65	88	32	185
古川	12	6	3	6	15	56	42	44	142
栗原	1	2	2	0	4	7	26	1	34
登米	1	0	2	1	3	21	33	10	64
石巻	3	5	2	4	11	43	33	25	101
志津川	4	4	1	2	7	29	6	16	51
仙台市	1	0	0	3	3	306	35	67	408
広域	4	2	2	3	7	0	0	0	0
計	48	50	19	24	93	561	307	288	1,156

## 2 社会教育委員の会議

第28次宮城県社会教育委員の会議意見書「地域づくりを支援する社会教育」を教育委員会に提言した。

### 会議の日程及び内容

会議名等	開催月日	内 容	場 所
第5回会議	平成17年 5月18日	○社会教育団体の補助金について ○第28次審議テーマ及び意見書の方向性についての確認	自治会館
第6回会議	平成17年 9月12日	○第28次意見書の骨子案について ○審議テーマ「地域づくりを支援する社会教育」について「社会教育施設における活動」と「各種施設や市民活動との協働」との2分科会に分かれて討議	自治会館
第7回会議	平成17年 11月2日	○審議テーマ「地域づくりを支援する社会教育」について2分科会での討議	婦人会館
第1回編集会議	平成17年 11月30日	○第28次社会教育委員の会議「意見書」の編集（成文化に向けて）	県庁
第2回編集会議	平成18年 1月11日	○第28次社会教育委員の会議「意見書」の編集（成文化に向けて）	県庁
第8回会議	平成18年 2月1日	○第28次社会教育委員の会議意見書の最終案についての調整・審議	県庁

## 3 研修事業

- 社会の進展に伴う県民の学習要求の多様化・高度化に対応し、研修内容を体系的に編成し社会教育関係職員の専門性、指導力の向上を図るため、次の研修を実施した。（第5-7表参照）
- 社会教育専門職員・団体などの中核的指導者を養成するために国や大学が行う各種講習会・研修会・講座への参加を積極的に進めた。

第5-6表 第28次宮城県社会教育委員名簿

No	氏 名	役 職 名
1	阿 部 かほる	子育て支援「みやぎわっこの会」代表
2	安 藤 ひろみ	医療法人社団良仁会ウィメンズクリニック 金上副院長
3	佐々木加代子	宮城県PTA連合会副会長
4	遠 藤 定 治	女川町教育委員会教育長
5	太 田 とよ子	多賀城市立高崎中学校長
6	千 葉 信 行	宮城県公民館連絡協議会副会長
7	馬 場 道	元(株)河北リサーチ・センター常務取締役
8	本 間 利 子	宮城県地域婦人団体連絡協議会監事
9	水 谷 修	東北学院大学教授
10	佐 藤 富 夫	宮城県松島高等学校長
11	菅 原 琢 臣	宮城県青年団連絡協議会会長(H16.8.1～)
12	森 雅 一 郎	東北放送株式会社報道制作局次長兼アナウンス部長兼解説委員会委員
13	矢 内 論	東北工業大学教授
任 期 平成16年3月1日から平成18年2月28日まで ※名簿は五十音順です。		

第5-7表

平成17年度社会教育関係職員研修事業

No.	事 業 名	趣 旨	対 象	期 日	会 場	参加者数 (人)
1	生涯学習・社会教育主管課長等会議	本県生涯学習施策と主要推進事項等の共通理解を深めるとともに、その推進方策や市町村における生涯学習事業の推進について協議する。	県社会教育主事・市町村社会教育主管課長	4.22	県庁講堂	133
				10.26	県婦人会館	101
2	社会教育関係職員セミナー（初任者コース）（Ⅰ期） 〃（初任者コース）（Ⅱ期）	生涯学習時代における社会教育関係職員・公民館職員の果たすべき役割を明らかにするとともに、企画者、援助者としての専門的知識・技能について研修する。	初任の社会教育行政職員・公民館職員	5.25 5.26	松島自然の家	24
				11.30 12.1	松島自然の家	10
3	県社会教育推進会議（兼東北地区社会教育研究大会）	県内市町村等の社会教育委員及び社会教育行政の担当者が、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の推進方策について研修する。	県・市町村社会教育委員、社会教育関係職員	11.24 11.25	仙台国際センター	359
4	社会教育主事研修会	社会教育主事に必要な知識や技能の向上を図る。	県・市町村等社会教育主事	9.7	県婦人会館	70
5	社会教育指導員研修会	社会教育指導員の任務を明らかにするとともに事業展開の新たな方向について研修する。	県・市町村社会教育指導員	9.28	自治会館	41
6	公民館長研修会	公民館に課せられた今日的課題について明らかにし、事業の企画や実施のあり方について研究協議する。	公民館長、副館長	6.10	県婦人会館	59
7	社会教育主事講習事前研修会（①・②）	社会教育についての認識を深めるとともに、社会教育主事の役割及び受講の心構えについて研修する。	東北大学社会教育主事講習受講者	①6.22	仙台市	41
				②6.27	猪苗代町	43

### ●国立教育政策研究所主催社会教育研修事業

	講 座 名	期 日	受 講 者 数	受 講 者 所 属
1	博物館職員講習	5月10日（月）～6月2日（水） 24日間	1人	仙台市
2	社会教育主事講習（A）	7月21日（木）～8月26日（金） 37日間	5人	仙台市
3	社会教育主事講習（B）	1月16日（月）～2月21日（火） 37日間	2人	仙台市 花山少年自然の家
4	視聴覚教育指導者講座	11月28日（月）～12月2日（金） 5日間	1人	栗原市
5	図書館司書専門講座	5月12日（月）～5月23日（金） 12日間	1人	仙台市
6	新任図書館長研修会	11月14日（火）～11月7日（金） 4日間	2人	亘理町、築館町

- 東北大学社会教育主事講習（6月28日（火）～8月4日（木））  
受講者数43人（県40人・市町村3人）

(ア) 職員は専任の割合が48.5%で1館当たり2.2人である。  
(イ) 研修活動としては、県公連と共催で社会教育関係職員セミナーを松島自然の家で実施したほか、公民館長研修会を県婦人会館において開催した。

#### 4 社会教育団体に対する助成

全県の組織をもつ社会教育団体に対して次のとおり補助金を交付した。

第5-8表

団体名	代表者名	補助金(千円)
1 宮城県地域婦人団体連絡協議会	阿部 恒子	370
2 宮城県青年団連絡協議会	菅原 琢臣	370
3 宮城県PTA連合会	勅使瓦正樹	370
4 宮城県高等学校PTA連合会	庄司 喜隆	100
5 日本ボーイスカウト宮城県連盟	浅野 史郎	100
6 (社)ガールスカウト日本連盟宮城県支部	平岡さち子	100
7 (社)宮城県子ども会育成連合会	菅原 芳郎	100
8 宮城県公民館連絡協議会	小島 四郎	100
9 宮城県視聴覚教育連絡協議会	阿部 哲男	100
10 宮城県社会教育委員連絡協議会	高橋 輝昭	100
11 宮城県ユネスコ連絡協議会	藤原 五郎	100
12 (社)宮城県芸術協会	星 光一	100

#### 5 社会教育施設の状況

生涯学習の拠点として期待される社会教育施設については、積極的に整備充実を図ってきたところであるが、さらに施設の適正配置、専門職員体制の整備、事業内容の充実、関連施設とのネットワーク化等を図り、県民の多様な学習要求に対応できる施設整備を総合的に進めた。

##### (1) 公民館等

###### ア 設置状況

公民館は、平成17年度現在258館設置されている。市町村合併の進展や学習ニーズの多様化、高度化に伴い、地域の実情に応じて、関連施設の整備状況などを考慮し、適正な配置と整備充実が進められてきた。（第5-9, 10, 11表参照）

###### イ 職員体制と研修活動

##### (2) 図書館

第5-9表 公民館設置状況

区分	対象人口(人)	現況		1市町村当たり	1館当たり人口
		市町村数	総数		
大河原	191,138	9	47	5.22	4,067
仙台	438,141	13	40	3.08	10,954
古川	218,276	12	38	3.17	5,744
栗原	80,248	1	21	21.00	3,821
登米	89,302	1	18	18.00	4,961
石巻	221,283	3	19	6.33	11,647
志津川	96,656	4	16	4.00	6,041
仙台市	1,024,947	1	59	59.00	17,372
計	2,359,991	44	258	5.86	9,147

第5-10表 過去10年間ににおける公民館整備状況

区分	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	この10年間の平均	この5年間の平均
	新築数(館)	1	2	1	2	0	2	1	2	0		
新築数(館)	1	2	1	2	0	2	1	2	0	0	1.1	1.0

表5-11表 公民館職員配置状況

(平16. 5. 1現在)

区分	館長(人)	主事等(人)	計(人)	割合(%)
専任	58	503	561	48.5
兼任	85	222	307	26.6
嘱託	103	185	288	24.9
計	※246	910	1,156	100.0

※2館兼務あり

第5-12表

図書館設置状況

	設置年	床面積(m <sup>2</sup> )	蔵書冊数(17.4.1:冊)	個人貸出(16年度:冊)	職員数(17.4.1:人)	うち有資格者数(17.4.1:人)	図書購入費(16年度決算額:千円)
宮城県図書館	明治14年	18,100	986,728	1,039,410	41	20	79,997
仙台市民図書館	昭和37年	3,750	453,370	815,913	23	5	48,324
仙台市広瀬図書館	平成3年	600	89,153	314,848	7	2	12,574
仙台市宮城野図書館	平成2年	3,324.6	189,183	617,555	10	5	25,530
仙台市榴岡図書館	昭和58年	632	67,972	209,227	5	2	10,224
仙台市若林図書館	平成5年	1,911.2	164,254	717,926	10	3	25,703
仙台市太白図書館	平成11年	2,454.3	157,274	722,428	8	4	24,246
仙台市泉図書館	昭和53年	4,983.5	473,546	1,048,901	17	5	36,912
石巻市図書館	明治14年	1,463.2	173,489	303,008	13	5	11,875
塩竈市民図書館	昭和51年	2,543.5	208,578	341,821	14	4	20,624
大崎市図書館	昭和36年	1518.9	120,945	166,482	7	4	8,750
気仙沼市図書館	大正5年	1,944	185,466	132,281	5	1	6,922
白石市図書館	大正3年	1,234	96,223	100,412	4	1	10,821
名取市図書館	昭和51年	929.9	160,920	215,465	7	4	12,643

	設置年	床面積 (㎡)	蔵書冊数 (17. 4. 1 :冊)	個人貸出 (16年度:冊)	職員数 (17. 4. 1 :人)	うち有資格者数 (17. 4. 1 :人)	図書購入費 (16年度決算 額:千円)
多賀城市立図書館	昭和53年	1,541.2	181,078	338,422	10	3	18,108
角田市図書館	昭和46年	1,011	133,737	139,506	5	1	8,957
岩沼市図書館	昭和50年	976	99,034	198,469	4	3	10,262
栗原市立図書館	平成10年	1,809	79,685	100,950	5	1	8,163
登米市立迫図書館	大正6年	531	33,578	30,125	4	1	2,738
登米市立登米図書館	昭和29年	124	33,785	6,781	4	1	100
東松島市図書館	平成5年	998.5	115,710	247,060	4	1	8,424
蔵王町立図書館	平成16年	593	34,065	58,618	5	2	25,241
丸森町立金山図書館	昭和11年	121	22,770	1,202	3	0	180
亘理町立図書館	平成6年	1,907	128,488	184,527	7	2	8,698
利府町図書館	平成16年	202.76	31,986	82,119	5	3	7,962
加美町中新田図書館	平成6年	2,878	212,706	149,905	5	1	13,925
加美町小野田図書館	平成16年	1,051	55,258	72,080	3	2	21,182
美里町小牛田図書館	平成2年	923	111,370	180,831	5	2	8,847
南三陸町図書館	昭和62年	416.19	15,299	23,367	3	1	2,245
本吉町立図書館	昭和30年	476	70,057	83,275	4	1	4,036
合計	—	—	4,885,707	8,642,914	247	90	484,213



(3) 博物館

登録施設・相当施設合わせて16館あるが、民族資料館など各地域の特色を生かした類似施設が年々整備されてきている。(第5-13表参照)

県美術館は「開かれた」総合美術センターとして広く県民生活

に密着し、親しまれる事業を企画・実施してきた。

今後ますます県民の豊かな文化環境を求める気運が高まる中で、それぞれの博物館、類似施設などの特色を十分生かした連携が強く望まれる。

第5-13表

博物館設置状況

施設名	設置者	登録年月日	所在地	
登録博物館	東北歴史博物館	宮城県	平成12年1月26日	多賀城市高崎1-22-1
	宮城県美術館	宮城県	昭和57年9月4日	仙台市青葉区川内元支倉34-1
	瑞巖寺宝物館	宗教法人瑞巖寺	昭和27年8月13日	松島町松島字町内91
	斉藤報恩会自然史博物館	財団法人斉藤報恩会	昭和29年9月13日	仙台市青葉区本町二丁目20-2
	仙台市博物館	仙台市	昭和36年10月2日	仙台市青葉区川内三の丸跡
	塩竈神社博物館	宗教法人志波彦塩釜神社	昭和41年5月6日	塩釜市一森山1-1
	仙台市科学館	仙台市	平成2年9月26日	仙台市青葉区台原森林公園4-1
	仙台市こども宇宙館	仙台市	平成2年9月26日	仙台市泉区泉中央一丁目8-6
相当施設	カメイ記念展示館	財団法人カメイ社会教育振興財団	平成7年11月10日	仙台市青葉区五橋1-1-3
	マリニピア松島水族館	仙台急行株式会社	昭和30年12月28日	松島町浪打浜16
	八木山動物公園	仙台市	昭和41年5月25日	仙台市太白区八木山本町1-43
	共生福祉会福島美術館	社会福祉法人共生福祉会	昭和55年8月4日	仙台市若林区土樋288-2
	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	学校法人梅壇学園	平成元年5月31日	仙台市青葉区国見一丁目8-1
	ふるさと歴史館	松山町	平成4年3月1日	松山町千石字松山428
	東北陶磁文化館	加美町	平成6年7月28日	加美町字町裏64
	リアス・アーク美術館	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合	平成12年7月18日	気仙沼市宇赤岩牧沢138-5

(4) 青少年教育施設

自然の家4施設(県立)、少年自然の家2施設(国立1、仙台市立1)、国立野営場1施設、青年会館1館があり、それぞれの施設の特色を生かした事業が実施されている。

(5) 宮城県婦人会館

一泊研修、家庭における男女共同参画講座などの事業を(財)みやぎ婦人会館に委託し実施した。

6 子ども読書活動推進事業

みやぎ子ども読書活動推進研修大会の開催

県内における子どもの読書活動の推進に関する方策と具体的な取組を内容として、平成16年3月に策定された「みやぎ子ども読書活動推進計画」を踏まえ、講演や事例紹介、シンポジウム等を通じ、子どもの読書活動を推進する意義を深める研修大会を次のように開催した。

- ・名取市  
期日：平成17年7月23日  
会場：名取市立増田小学校体育館  
参加者：312人
- ・蔵王町  
期日：平成17年10月15日  
会場：蔵王町ふるさと文化会館  
参加者：32人
- ・気仙沼市  
期日：平成17年11月4日  
会場：気仙沼市交流センター 大ホール  
参加者：63人

## 第3節 青少年教育

青少年を取り巻く社会環境の変化が青少年にさまざまな影響を与えている中、次代を担う青少年が社会の変化に主体的に対応できる資質と意欲を持ち、たくましく思いやりのある人間として育つための青少年育成体制と事業の充実、環境づくりの総合的な推進に努める。

### (1) 青少年育成指導者研修の実施

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	MAP（みやぎアドベンチャープログラム）研修会	<p>学校外活動の充実と地域におけるMAPの普及・推進</p> <p>・MAP体験会 MAPの基本的な考え方を学ぶとともに、簡単なMAPのアクティビティを体験する。</p> <p>・MAP講習Ⅰ MAPの理論やプログラミングを学ぶとともに、様々なMAPのアクティビティやローエレメントを研修する。</p> <p>・MAP講習Ⅱ MAPのプログラミングの組立と、アドベンチャーカウンセリング等心理的手法を学ぶ。</p>	<p>市町村教育委員会・公民館・青少年行政担当者・施設職員・少年教育指導者等各 30人</p> <p>MAP体験会修了者 30人</p> <p>MAP講習Ⅰ修了者 30人</p>	<p>6月17日（金）</p> <p>6月7日（火）</p> <p>5月24日（火）</p> <p>5月28日（土）</p> <p>7月6日（水）</p> <p>～8日（金）</p> <p>10月5日（水）</p> <p>～7日（金）</p> <p>10月26日（水）</p> <p>～28日（金）</p>	<p>泉が岳自然の家</p> <p>志津川自然の家</p> <p>松島自然の家</p> <p>蔵王自然の家</p> <p>泉が岳自然の家</p> <p>松島自然の家</p> <p>泉が岳自然の家</p>
2	ジュニア・リーダー中級研修会	子ども会の直接指導にあたる年少指導者を対象に、子ども会活動に必要な知識と技術を習得させる研修会	ジュニア・リーダー初級研修修了者(市町村等教育委員会の推薦者) 大河原 31人 仙台 43人 古川 32人 栗原 16人 登米 27人 石巻 50人 志津川 19人	7月・8月	各教育事務所ごと5会場で実施（志津川・登米合同開催） 泉が岳自然の家 志津川自然の家 蔵王自然の家 松島自然の家 国立花山少年自然の家
3	ジュニア・リーダー上級研修会	ジュニア・リーダー中級研修を修了した年少指導者を対象に、子ども会活動のリーダーや地域ボランティアとしての資質向上を図る研修会	ジュニア・リーダー中級研修修了者(市町村等教育委員会で活動している者) 大河原 9人 仙台 20人 古川 13人 栗原 11人 登米 9人 石巻 10人 志津川 12人	12月23日（金） ～25日（日）	泉が岳自然の家 志津川自然の家

### (2) みやぎ地域教育力再生事業（文部科学省委託事業）

#### ①趣旨

「地域子ども教室推進事業」に「地域ボランティア活動推進事業」「文化体験プログラム支援事業」を新たに加えた「地域教育力再生事業」として取り組み、地域の大人の協力を得て、地域に根ざした多様な体験活動や交流活動等の機会を提供することにより、地域全体で子どもを育む環境を充実させ、地域の教育力の再生を図る。

#### ②実施期間 平成17年4月2日から平成18年3月31日

#### ③事業の対象

児童・生徒、青少年健全育成関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、事業に関心をもつ者

#### ④事業内容

- ア みやぎ地域教育力再生運営協議会…事務局：生涯学習課  
年5回 定例会議：平成17年4、5、7、10月、平成18年1月
- イ 研修会 年6回  
・コーディネーター研修会…5月 参加者64人

- ・地域子ども教室担当者会議…7月 参加16人
- ・県協議会委員県外視察研修会…7・10月  
視察地「八戸市大館公民館」「品川区大原児童センター等」
- ・地域子ども教室指導者研修会…8月 参加者83人
- ・県協議会委員県内視察研修会…9～10月  
視察地「県内委託市町村」
- ・県内地域教育力再生検討会…11月 参加者57人
- ⑤事業再委託市町村…20市町村
  - ・地域子ども教室  
(小学校や公民館の施設を活動拠点とした子どもたちの安心、安全な居場所づくり)…14市町村23居場所
  - ・地域ボランティア活動推進事業  
(地域における特色を活かしたボランティア活動の推進)…1町
  - ・文化体験プログラム支援事業  
(地域の特色ある芸術文化、伝統文化、文化財等様々な文化に触れ体験する)…5市町村

**(3) 地域教育力活性化推進体制の充実**

完全学校週5日制を契機とした地域教育力活性化に向けた総合的な取組への企画立案等やそれに伴う諸課題について協議する推進協議会を設置すると共に、幅広い関係機関・団体と連携等を行う活動支援センターを設置し、学校教育と社会教育を通じた青少年の奉仕活動・体験活動の推進体制の整備に努めた。

また、地域教育力活性化のための先進的事業として、地域の児童生徒と障害のある児童生徒との交流体験活動を実施した。

内 容	対 象	期 日	会 場
(1) 県の体制 ①県青少年体験活動支援センター設置運営 青少年の体験活動を支援するために青少年体験活動支援センター(以下「支援センター」という。)を設置し、県内の青少年体験活動の情報収集・提供及びコーディネートなどの相談対応業務を実施した。 ア 情報の収集提供 青少年の体験活動に関する県内の様々な体験活動の情報を取材により収集し、支援センターのホームページで市町村及び青少年教育団体・学校等に対する情報提供を実施した。 イ 相談対応 市町村等からの体験活動講師の紹介相談に対応した。 ウ 調査・研究 県内各市町村等の青少年体験活動支援センター設置状況調査を実施した。 エ 普及・啓発 情報紙を発行し、市町村の青少年体験活動情報の発信等を行い、青少年体験活動の普及・啓発に努めた。 ②青少年の心のシンフォニー 県青少年社会教育施設等を拠点として、地域の児童生徒と障害のある児童生徒との交流活動や体験活動を実施した。 ア「心と心のふれあいIN志津川」 50人 ・洋上巡り、バナナボート、シーフードバーベキュー イ「ハーモニーin蔵王」 40人 ・動物と遊ぼう、バター作り、にじますつかみ体験等 ウ「ハートフル潮風」 67人 ・砂遊び、野外炊飯、地引き網、クラフト等	PTA、NPO、ボランティア関係者、青少年団体、学校教育関係者、社会教育関係者、一般県民  障害のある児童・生徒、小・中・高校生	4月～3月  8月20日～21日 9月24日～25日 8月20日～21日	県生涯学習課内  志津川自然の家 蔵王自然の家 松島自然の家

**(4) 青少年の体験活動・ボランティア活動支援**

No	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	地域教育力活性化モデル事業	再掲	児童生徒	通年	青少年関係施設等
2	青少年長期自然体験活動推進事業	夏休業と秋の連休中に、親と離れて最低2週間程度の自然体験、長期宿泊体験を実施する。	児童生徒 27人  29人	①8/5～8/12 ②10/8～10/10  7/29～8/11	NPO法人 冒険あそび場に委託 仙台市青葉区大倉十里平  蔵王自然の家
3	セカンドスクールの活用事業	児童生徒に豊かな体験の場を提供するために、学校と青少年教育施設との連携・融合を図り、宿泊体験活動についての支援・協力を推進する。	児童生徒 7人 29人 14人 58人	通年 5/17～5/20 10/3～10/7 10/19～10/21 11/9～11/11	松島自然の家 蔵王自然の家 志津川自然の家 蔵王自然の家
4	青少年教育施設ボランティア活動推進事業	青少年教育施設におけるボランティアの活用を図るとともに養成研修を実施する。	青年・成人 38人 18人 11人	通年	蔵王自然の家 泉が岳自然の家 松島自然の家

**(5) 青年の地域活動支援（青年文化祭、青年体育大会の実施）**

No	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	青年地域活動促進事業	青年の文化活動及びスポーツ活動を軸とした地域活動を推進し、真に豊かな地域社会の創造を目指す。 (1)地方青年文化祭 (2)宮城県青年文化祭 (3)宮城県青年体育大会  (4)全国青年大会	各市町村青年 県内青年 県内青年  県青年代表	11月～3月 6月12日(日) 8月6日(土) ～7日(日) 20日(土) 11月11日(金) ～14日(月)	各教育事務所管内7会場 仙台市広瀬文化センター 岩沼市総合体育館他  東京都(日本青年館他)
2	青年会館研修奨励事業	地域づくりに寄与できる青年の育成と青年団体指導者の資質向上を図る諸事業を実施する。 (1)青年地域交流事業 (2)青少年団体宿泊研修事業  (3)青少年地域体験活動推進事業 (4)地域教育力支援事業	各種青年 市町村青少年団体 学校関係団体等 小学4～6年生及び 各種青年 県内地域親子	11月, 12月, 2月 通年  7月 通年	(財)宮城県青年会館

(6) 青年団体への協力・援助

青年団への加入率低迷の中で、団体間連絡の必要性がさげばれ、連絡協議会を結成し8団体が加盟している。

ア 地域青年団

地域青年団は、宮城県青年団連絡協議会をもって代表される。平成17年度登録団員数は、887人となっている。地方青年文化祭、県青年文化祭、県青年体育大会、全国青年大会を中心に協力・援助を行っている。

イ その他の青年団体

地域青年団体以外の青年団体は、次に掲げる通りである。特に宮城県青年の船友の会からは、「少年の船」事業に対して指導団員の派遣など協力・援助をもらっている。

- 宮城県農村青少年クラブ連絡協議会
- 宮城県農協青年連盟

- 宮城県商工会青年部連合会
- 宮城県林業研究会連絡協議会
- 宮城県友愛青年同志会
- 宮城県森林組合青年部連絡協議会
- 宮城県青年会
- 宮城県漁協青年団体連絡協議会
- 宮城県青年国際交流機構
- 宮城県青年の船友の会
- 宮城県青年海外協力協会
- 宮城県ユースホステル協会
- 伊達な翼の会

## 第4節 成人教育

### 1 女性教育

(1) 指導の要点

女性のライフスタイルの変化に伴う学習要求の多様化に対応した女性教育の学習機会の充実と、婦人学級・女性団体の自主的活動の促進を図った。

(2) 市町村における女性教育に関する学級実施状況

○学級講座数 383 参加者数 23,214人

(3) 市町村における女性ボランティア養成講座

○講座数 17 参加者数 914人

(4) 地域婦人団体の現状

県内では149単位団体、15,534人の会員を有する宮城県婦人団体連絡協議会は、青少年の健全育成、男女共同参画社会の実現、環境保全と資源の有効利用、高齢化社会への対応、世界平和の確立等の実現に努めることを目的とする全国組織を持つ団体である。

宮婦連の自主性を尊重しつつ、求めに応じて指導、助言、援助を行った。

(5) 事業

宮城県女性指導者養成研修事業

意欲的な女性の学習活動に対する支援を通じて、今後の生涯学習社会及び地域づくりの基盤を担っていく生涯学習指導者等の発掘・育成を図った。

テーマ設定の上、自主企画による県外研修計画を募集し、1人当たり10万円を上限として、補助対象経費の1/2以内の額の助成を行った。

- 研修生 5人（個人又は3人以内のグループ）
- 研修テーマ 教育、地域づくり、環境

### 2 家庭教育

(1) 指導の要点

心豊かなたくましい青少年の育成を目指し、家庭・学校・地域が持つ独自の教育機能の強化に努め相互の連携を図ることを目標とした。

ア 基本的な生活の場である家庭の在り方や、乳幼児期における家庭教育に関する学習の充実を図める。

イ 家庭教育に関する親の学習機会・内容の充実や情報提供などを推進するとともに指導者の確保を図る。

ウ 子供を取り巻くあらゆる人々を対象とし、特に男女が共に参加できる学習の場の提供と、保健衛生・福祉等関係機関との連携に努める。

(2) 事業

1 家庭教育子育て支援推進事業

① 趣旨

家庭教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で極めて重要な役割を担うものであり、学校教育・社会教育につな

がる生涯教育の起点でもある。特に心身両面で著しい発達を示す乳幼児期にその発達を促し、調和のとれた子供に育てていくことは親たちの大きな役割であり、果たすべき大きな課題である。

子育てを行っている親等が当面している家庭教育上の諸問題について必要な情報や学習機会を提供するとともに、子供を育てていく上で適切な助言や指導が行える相談体制の整備に努める等、生涯学習の基礎となる家庭教育の充実と振興を図る。

② 実施期間 4月1日～3月31日

③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年育成会担当者、社会教育主事、小中学校教諭等、家庭教育に関心をもつ者。これから親になる青年男女。

④ 事業内容

ア 家庭教育電話相談

「すこやか子育てテレホン相談」  
月～金の10:30～16:00

\*その他 FAXは24時間対応

イ 「子育てサポーター養成講座」

期 日 平成17年6月16日～10月20日まで5日間  
25時間程度の研修、15時間程度の実技

会 場 宮城県婦人会館

内 容 地域の子育て支援者の養成

受講者 43人（内修了生41人）

2 家庭教育支援総合推進事業（文部科学省委託事業）

① 趣 旨

子育てサポーターリーダーの資質の向上を図るリーダーの養成、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供することで、家庭教育の充実を図る。

② 実施期間 4月1日～3月31日

③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年健全育成関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育の関心をもつ者、これから親になる青年男女等。

④ 事業内容

ア みやぎ地域家庭教育推進協議会 年5回

期 日 平成17年4月27日、7月21日、9月8日  
12月8日、平成18年2月16日

イ 子育てサポーターリーダー養成講座

期 日 平成17年9月8日～10月27日まで4日間  
受講者 修了生18名

ウ 子育てサポーターリーダースキルアップ講座

期 日 平成17年7月14日、10月6日  
対 象 平成16年度子育てサポーターリーダー

エ 家庭教育推進事業

家庭教育「豊楽夢」<sup>フォーラム</sup>（5会場で実施、227人参加）  
（志津川町、石巻市、栗原市、松山町、村田町）

オ 市町村における家庭教育に関する事業・学級

（再委託先36市町村）  
（ア）妊娠期子育て講座

（60回）

- (イ) 就学時健診等の機会を活用した子育て講座 (328回)
- (ウ) 思春期子育て講座 (191回)
- (エ) 明日の親になる中・高校生の子育て理解講座 (68回)
- (オ) その他 (338回)
- (カ) 父親のつどい (64回)

### 3 お父さんの家庭教育参加促進事業

#### ① 趣 旨

子育ての中の親を中心に、県内各地で活動をしているお父さんたちの会のメンバーの協力を得て、父親の家庭教育に関する課題などを様々な視点から取り上げる学習機会の提供及び父親と子どもが遊びを通してふれあう交流事業を実施し、父親の家庭教育への参加を啓発する。

さらに、県内各地域で活動する父親の会の実態調査を行い、データベース化して活動内容などを情報提供し、父親のグループのネットワークの形成を図る。

#### ② 実施期間 4月1日～3月31日

#### ③ 事業の対象

父親、および父親の家庭教育参加促進に関心を持つ者、これから親になる青年等。

#### ④ 事業内容

##### ア 企画・運営連絡会の開催

委員 5人(お父さんの会関係者、学識経験者等)  
開催回数 年6回  
協議内容 出前学習会の開催、親子交流フェスティバル各種調査について

##### イ 出前学習会

父親の家庭教育への参加を促進する地域活動を行っているお父さんの会のメンバーを講師として、県内7市町村に派遣し、父親と子どものふれあいを含めた学習会を実施。県内7市町で、7回開催。625人参加。

##### ウ 親子交流フェスティバル

親子や親同士の様々な体験活動や交流を通して、連帯感や父親の家庭教育に関する意識の啓発を図る。また、各地域のお父さんの会について広く一般県民に知らせる機会とする。  
・開催日：11月5日(土)・場 所：鹿島台中央野球場他  
・参加者数：約250人

##### エ 各種調査

・父親の家庭教育関係調査  
調査内容…父親を対象とした事業を県レベルで実施しているかの調査と「おやじの会」等の団体についての調査  
・平成16年度「出前学習会」事業効果調査  
調査内容…父親たちの家庭教育に対する意識や行動の変容とその理由についての調査

### 4 P T A

#### (1) 平成17年度宮城県P T A指導者研修会

##### ア 研究テーマ

- (1) 会員の研修活動に関するもの
- (2) 学級、学年、地区P T A活動に関するもの
- (3) 青少年健全育成にかかわる地域活動に関するもの

##### イ 期日・会場

7月～12月  
宮城県P T A指導者中央研修会(仙台市)  
宮城県P T A指導者地区研修会  
幼・小・中学校7会場、高校6会場、特殊教育1会場

#### (2) 宮城県P T A連合会の主な事業

##### ア 代議員会(仙台市)

イ 宮城県P T A研究大会登米大会  
ウ 地区セミナー(27会場)  
エ 単位P T A会長会(松島町)  
オ 機関紙「P T Aみやぎ」の発行

#### (3) 宮城県高等学校P T A連合会の主な事業

ア 東北地区高等学校P T A連合会仙台大会(仙台市)  
イ 総会(仙台市)  
ウ 「高P連会報」発行  
エ 事務局長研修会(仙台市)

#### (4) 優良P T Aの表彰

ア 文部科学大臣表彰(2団体)  
・大衡村立大衡小学校P T A  
・仙台市立栗生小学校父母教師会

### 5 人権教育

#### (1) 平成17年度人権教育指導者研修会

人権に関する学習活動を推進するために必要な指導者の資質の向上と指導力の強化を図るため、市町村教育委員会成人教育担当者や社会教育施設及び学校教育関係者保護者等を対象に研修を行った。

ア 期日 第1回 11月12日(土) 加美町宮崎福祉センター  
第2回 11月19日(土) 大河原町中央公民館  
イ 内容 人権についての基調講演、シンポジウムの開催  
ウ 参加者 第1回 160人、第2回 220人

## 第5節 視聴覚教育

学校・社会教育におけるメディアの積極的な活用を促進するとともに情報化社会に対応する教育内容・方法の充実と開発、人材の育成を図るため、視聴覚教育推進拠点及び推進体制の整備充実と研修の拡充を目標として掲げ、その具体化と実践化に努めた。

### 1 視聴覚教材センター(ライブラリー)の設置状況

#### (1) 県視聴覚ライブラリー

県の視聴覚ライブラリーは、県図書館内に併置され、地域視聴覚教材センター(ライブラリー)間の連絡調整・指導助言と一般県民に対する視聴覚教材等の提供などに努めた。

#### (2) 市町村の視聴覚教材センター(ライブラリー)

地域視聴覚教材センターは、完全公立化(一部事務組合4・単独4・協議会2)され、視聴覚教育推進拠点となっている。人的体制・予算措置などに格差がみられ、事業の展開にも影響がでているので、各センター間の連携を強め相互援助を図る中で視聴覚教育の普遍化を目指し、地域の総合的な学習情報機能をもつよう努めた。

### 2 事業

#### (1) 自作視聴覚教材コンクール

##### ア 事業の目的

視聴覚教材の自作を通じた個人・グループの自主的学習活動の成果を発表する機会を設け、視聴覚センター・ライブラリー機能の拡充と視聴覚教育の振興を図る。

##### イ 事業概要

- ・とき 2月18日(土)
- ・ところ 宮城県図書館

県内10の視聴覚教材センターの予選を経て学校教育及び社会教育の学習教材が出品された。(4部門 27点)

#### (2) 視聴覚教育メディア研修(研修カリキュラムⅡ基礎コース)

「視聴覚メディア研修カリキュラム標準案」に基づいた研修  
ア 総論7月27日、A7月28日、B8月10日～11日  
イ 会場 宮城県図書館 受講者 8人  
ウ 内容 総論、教育メディア各論、教育メディア特講

## 第6節 宮城県図書館

### 1 平成17年度宮城県図書館基本方針・目標

#### (1) 基本方針

県図書館に収蔵される先人の叡智の集積を活用し、未来へ伝えることを通じて、宮城の輝かしい発展、活力ある日本の再生に貢献する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を積極的に進める。

#### (2) 目標

- 1 県図書館の過去700年にわたる「叡智」の集積を最大限に生かし、次代を担う人々に拠って立つ故郷の薫り高い歴史や文化を伝えると共に、全国に発信するための環境整備を行なう。
- 2 生涯学習の拠点・地域の資料保存センターとして必要な資料の収集・保存、継承に努めると共に各種サービスの向上を図る。
- 3 全ての県民が図書館サービスを楽しむことができるように、市町村へ積極的に支援する。
- 4 高度情報社会に対応したサービスの向上を図るため、コンピュータやネットワーク技術を積極的に活用し、図書館サービス網の整備を促進すると共に情報機器を使いこなす能力向上に努める。
- 5 県民の学習・調査研究・企業のビジネス活動・子ども読書活動の推進に努める。
- 6 時代の変化や県民の学習ニーズに対応した生涯学習事業の推進に努める。
- 7 生涯学習・情報発信の中核施設として施設の整備、人材育成に努める。

#### (3) 施策と事業

- 1 22世紀を牽引する叡智の杜づくり
  - (1) 古絵図・古地図・貴重図書の修復・保存
  - (2) 国・県指定文化財のデジタル化及びレプリカ作成
  - (3) 国・県指定文化財のインターネット公開
  - (4) 宮城県図書館貴重資料の宮城県文化財指定に向けての環境整備
  - (5) 次世代を担う人材育成のために、貴重資料、古典、名作等の複製資料の高等学校等での移動展示
- 2 図書館資料等の整備充実・利活用
  - (1) 図書館資料の広範な収集及び整備保存の充実
  - (2) 図書館サービスの充実
- 3 調査研究と相談機能の充実及び生涯学習機会の提供
  - (1) レファレンスサービスの充実
  - (2) レファレンス事例集等の作成配布
  - (3) インターネット等による調査研究機能の整備
  - (4) 図書館ボランティア活動の支援
  - (5) 各種講習会、上映会、子どもの本展示会、おはなし会・紙芝居上演会等の開催
  - (6) みやぎ子ども読書活動推進計画に基づく学校支援、総合的な学習への支援
- 4 市町村図書館等への活動支援と職員研修の充実
  - (1) 図書館協力車運営事業の推進と公共図書館連絡会議の開催
  - (2) 図書館の整備・運営に関する助言
  - (3) 公共図書館等職員研修会等の開催
  - (4) 図書館間の相互協力体制の強化と充実
  - (5) 宮城県図書館協会、北日本図書館連盟等との連携・協力
- 5 宮城県図書館情報ネットワークシステムの整備・充実
  - (1) 図書館情報ネットワークシステムの拡充

- (2) インターネットでの蔵書検索サービス等の提供、ホームページの公開、インターネット端末の館内利用

### 6 生涯学習事業の推進

- (1) 生涯学習相談事業の実施

### 7 管理・運営体制の充実

- (1) 施設設備の整備
- (2) 各種媒体を活用した広報活動の充実
- (3) 司書等専門職員の養成と確保
- (4) 宮城県図書館協議会の開催

### 2 事業予算

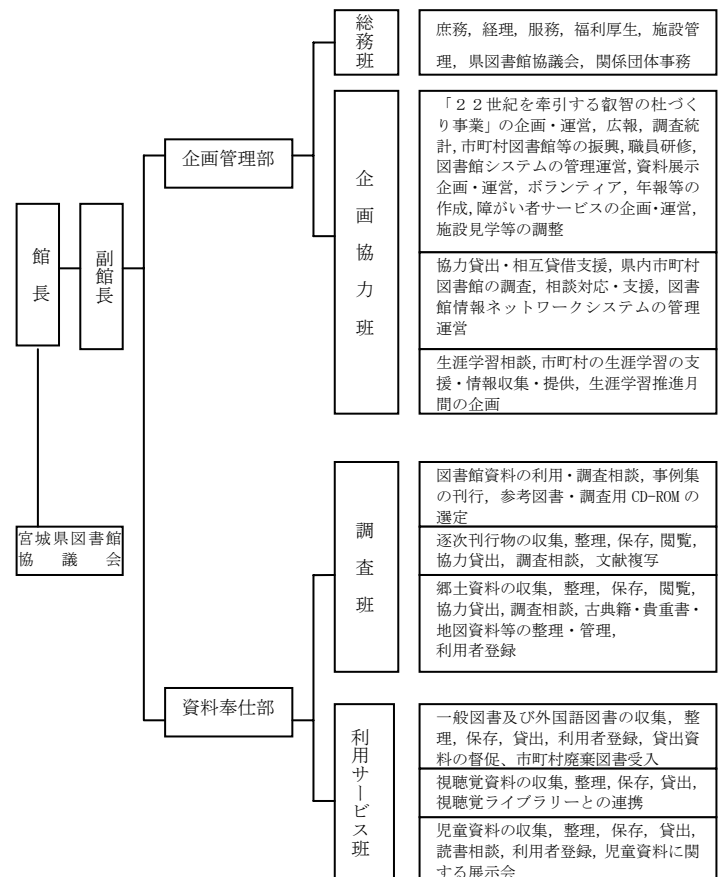
(単位：千円)

区分	当初予算額	概要
管理経費	274,671	本館の運営維持費 (定員内職員の人件費を除く)
図書館協議会	451	図書館協議会運営費
図書館運営費	26,081	機器使用料、消耗品等に要する経費
市町村支援費	69,104	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企画広報費	1,531	主催事業、広報等に要する経費
資料購入費	83,240	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	34,880	本館所蔵貴重資料の修復、写真撮影、デジタル化及びレプリカ制作等に要する経費
合計	489,958	

### 3 職員組織及び事務分掌

#### (1) 組織及び事務分掌

(平成17年4月1日)



(2) 職員数 ( ) : 司書・司書補有資格者内数

職名	館長	副館長	部長	次長	主任主査	主査	主事	計	嘱託	相談員	臨時職員	計
人数	1 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	8 (3)	5 (3)	17 (10)	40 (20)	19 (18)	2 (3)	26 (21)

4 宮城県図書館協議会

(1) 第27次宮城県図書館協議会委員名簿

(任期：平成16年3月1日～平成18年2月28日)

氏名	役職名
1 秋月 治	宮城大学事業構想学部教授
2 埴浦 功夫	仙台市民図書館長
3 石田 義光	東北学院大学文学部教授
4 遠藤 幸生	宮城県古川黎明中学高等学校長
5 小田 忠雄	東北大学名誉教授
6 塩野 雅代	東北大学大学院在学中
7 関口 裕子	ハートandアート空間B E I 代表取締役
8 永野 為和	河北新報社取締役編集総務室長兼メディア局長
9 二瓶瑠璃子	加美町中新田図書館副館長
10 紅邑 晶子	みやぎ・せんだいNPOセンター常務理事兼事務局長

(2) 第27次宮城県図書館協議会開催状況

第1回 平成17年6月30日(木)

- ・報告事項 平成16年度事業報告及び平成17年度事業計画について
- ・話題提供 「叡智の杜事業」について

第2回 平成17年9月1日(木)

- ・協議事項 「叡智の杜事業」について

第3回 平成17年12月1日(木)

- ・協議事項 「叡智の杜事業」について

(3) 平成17年度宮城県公共図書館協議会連合会代表者会議

期日 平成17年7月15日(金)

- ・報告事項 平成17年度北日本図書館大会青森大会について
- ・情報交換等

5 実施事業の概要

(1) 企画協力班

イ 「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」

本館の総合戦略プロジェクト「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」の事務局として、本事業の2本柱である「貴重資料の修復保存事業」と「次世代育成プロジェクト」の企画立案、運営を行いました。全職員参加のもと、市町村図書館、公民館図書館、学校、地域社会との連携を図りながら事業を推進し、高等学校授業での貴重資料レプリカ活用や司書によるチームティーチングにも取組みました。

(本事業の概要と平成17年度実績については、「6 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」として掲載しました。)

ロ 広報活動

- ・宮城県図書館だより『ことばのうみ』第19号から第21号まで、年3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び全国の都道府県図書館等に配布しました。
- ・ホームページでは、「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」の一環として作成した、『仙台領国絵図』、『魚蟲譜』等、県指定有形文化財の高精細デジタルデータを公開するほか、利用に関する各種情報の発信を行いました。
- ・一般県民の施設見学、小中学校・高等学校の児童・生徒による調べ学習、職場体験などを行い、87団体(延べ2,170名)を受け入れ、図書館理解と利用の促進を図りました。

ハ 市町村図書館・公民館図書室等への支援

- ・県民の図書館サービス享受を実現するために、市町村図書館・公民館図書室への資料提供(本館所蔵資料の協力貸出)を行いました。協力貸出冊数は24,506冊で、県内市町村図書館・公民館図書室等に22,383冊を貸出し、前年度比2%増となりました。

・協力貸出資料の配送は協力車と宅配便で実施し、協力車で巡回は、市町村図書館20館を対象に、1館あたり1か月に2回巡回を基本としました。全3コースでの年間69回(延べ92日)巡回を行いました。また、市町村図書館間の相互貸借資料の運搬も協力車により行いました。

・市町村図書館との連携を強化するため、公共図書館連絡会議を2回(5月と11月)開催しました。会議では、栗原市など市町村合併後の図書館サービスの現状と課題について、名取市図書館の障害者サービスの開始について、石巻市図書館牡鹿分館について等の情報提供がありました。また、宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)活用方法等についての協議も行いました。

・市町村図書館の運営相談業務は、栗原市、登米市など合併市町村の図書館を重点的に訪問しました。

ニ 市町村図書館・公民館図書室職員研修会

・市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、職員研修会1・2を開催しました。平成17年度の新規事業として、公共図書館等館長研修会を行いました。研修会の実施にあたっては、「図書館サービス計画立案」「図書館経営の現状と課題」等のワークショップを取り入れました。

ホ 宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)の整備・充実

・MY-NETの新規加入は、登米市立登米図書館、女川町生涯教育センターなど4館で、参加館は39館となりました。インターネット公開の県内総合目録は東松島市、蔵王町、利府町図書館が登録、参加館14館となりました。

ヘ 図書館未設置町村への図書館振興策

・図書館の設置や利用促進の気運を醸成するために、11月5日に山元町で、宮城県図書館振興講演会を開催し、地元の家庭文庫による読み聞かせやサークルによる人形劇などを行いました。

・平成18年3月末現在図書館未設置の大和町、松島町、女川町など15町村の公民館図書室を訪問し、現状と諸課題等のヒアリングを実施しました。

ト ボランティア活動支援

・社会教育施設でのボランティア活動の機会を広げるために、ボランティア募集を行いました。新規登録は66人で、ボランティア登録者は延べ129人となりました。全体研修会のほか、活動内容ごとの専門講座を、書架整理(登録者47人)、視聴覚整理(同17人)、読み聞かせ(同13人)は各2回、音訳(同26人)は6回、展示室内(同26人)は7回実施しました。

チ 生涯学習相談業務

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため、必要な情報を提供するとともに、学習者が直面する様々な問題や悩みの解決に向けて助言等を行いました。相談件数は年間1,864件(面接相談1,590件、電話相談274件)で、生涯学習室への入室者数は5,499人となりました。また、県内の生涯学習サークルの作品を展示紹介しました。

リ 生涯学習推進月間事業

10月の1ヶ月間を通して、宮城県図書館の特徴を生かしながら生涯学習に関する8種類のイベントを行いました。生涯学習推進講演会・裁判官出前講座・ちぎり絵体験会・秋のおおはなし会、テーマ講演会「身近な危険から身を守る」(全4回)など、多くの県民の方々にご参加いただきました。

(2) 調査班 調査相談担当

イ レファレンス業務

・利用統計

今年度の個人レファレンス総件数は10,347件で、前年度比約0.5%増となりました。依頼内容の傾向としては、業界情報や会社情報に加え、ビジネスに利用するような範囲を限定

したデータ、起業に関する法律の手続きなど、株や証券取引など世相を反映したものも多くありました。図書館間の協力レファレンス依頼は、県外16件を含む170件(前年度比約9%増)となりました。

・レファレンス事例集「としょかん質問箱」の編集・刊行  
平成10年度から継続している回答事例を編集・刊行することでは、今年度第15号及び第16号を各700部刊行し、県内外の公共図書館等に配布しました。今後は、宮城県図書館のホームページでの公開を計画しています。

ロ 協力借受

利用者の希望により、絶版などの理由で購入できない本について県内外から本を借受した件数は593件(県外100件を含む)となりました。この中には、郵送貸出者への郵送12件を含んでいます。

ハ 電子図書の活用

電子図書の利用は前年度比8%減の502件の利用がありました。件数においては前年度比若干のマイナスとなりましたが、利用可能な端末機の最も利用頻度が高い東京商工リサーチの『CD・Eyes50 TSR 企業情報ファイル』は、1回あたりの利用時間が長くなっています。毎年のデータの更新時期になると電話での問い合わせも多く、ビジネスパーソンにはこのデータベースの存在が周知されているようです。

CD-ROMの『判例体系』、『現行法規』は操作のし易さと年に数回の更新(『判例体系』年に2回、『現行法規』は年に4回)による情報の新鮮さから利用頻度が高いように思われます。

(3) 調査班 逐次刊行物担当

イ 整理状況

年間で1,521タイトル(購入455タイトル、寄贈1,066タイトル)を受け入れ、整理しました。

ロ 利用状況

- ・調査相談件数(館内案内含む)は口頭・電話・Eメール・FAX等合わせて4,959件で、前年度比1,093件(館内案内含まず)の増となりました。
- ・閉架書庫資料の出納冊数は4,496人(件)61,137冊(前年度比30,145冊増)、複写枚数は63,659枚(前年度比7,710枚減)となりました。
- ・データベース利用件数は河北データベースが332件(前年度比85件減)、朝日新聞データベースは161件(前年度比141件減)、官報は7件(前年度比7件減)、雑誌記事索引・企業情報等のCD-ROMが264件(前年度比85件減)の利用がありました。
- ・当館で所蔵していない資料中の論文の他館への複写依頼件数は国立国会図書館・大学図書館・公共図書館への依頼が297件(前年度比210件減)となりました。また、他機関から当館への依頼は345件(前年度比466件減)となりました。日本全国から依頼があります。
- ・障害者サービスでは、新聞のコラム、川柳、経済指標、テレビ・ラジオ欄、将棋および週刊誌の記事の電話音訳が延べ157人(前年度比33人増)、点字雑誌の貸出利用は延べ65人84冊(前年度比33人・26冊増)となりました。
- ・マイクロフィルムのリーダー・プリンターの利用者は延べ1,114人(前年度比188人減)でした。

ハ その他

- ・今年度も県内公共図書館の逐次刊行物の購入状況を調査し、「県内公共図書館 雑誌・新聞購入一覧」を作成し、配布しました。
- ・開架雑誌の配置を見直し、①コンピュータ関係は電気通信に、②介護雑誌は福祉関係に、③情報誌、旅行、女性誌、家庭教育、住まい、家庭の園芸に関するものは生活情報誌に等、それぞれまとめて配架することにより、雑誌を探しやすくし

ました。

・タウンページ、ハローページの配架場所が離れていた全国の電話帳を、まとめて都道府県別に並べ、メモ用の場所を作りました。

・26番東側の書架を「しごとに役立つコーナー」としてリニューアルし、別の棚に配置していた年鑑・白書類の最新号をひとつの場所にまとめ、ビジネスの基礎データとして使いやすくしました。

・各企業の「環境社会報告書」「CSR報告書」等160社分163タイトルを収集し、配架しました。

(4) 調査班 みやぎ資料室

イ 宮城県指定有形文化財

・以下の本館所蔵資料が指定有形文化財に指定されました(平成17年7月26日)。

- 書籍
  - 『環海異聞』(写本) 16冊
  - 『金城秘鑑』(写本) 2冊
  - 『英文翻訳彼理日本紀行』(稿本) 10冊
  - 『奥州名所図会』(自筆稿本) 4冊
  - 『熟語本位英和大辞典』(自筆原稿) 一本

歴史資料

「仙台祭絵関係資料」 1帖、1巻

ロ 貴重資料専門調査事業

・県文化財指定に向け、9名の専門調査員による本館所蔵資料の詳細な調査、評価を行い、報告書を作成しました。調査は延べ40日間実施しました。

ハ 「江戸のモノづくり」事業(主催:文部科学省)への協力

・電気通信大学教授・佐藤賢一氏のグループ(日本数学資料の所在調査)が本館所蔵資料を調査しました。調査は資料のマイクロフィルム化を中心に計1回、延べ3日間行われ、これらの事業に協力しました。

ニ 整理状況

・図書は1,325冊(購入780冊、寄贈545冊)、地図は19枚(購入)を整理しました。また、古書16冊(購入1冊、寄贈15冊)を整理しました。

・逐次刊行物は、継続タイトルの整理に加えて、新規に雑誌120タイトル、行政資料88タイトルを受け入れ整理しました。

ホ 利用状況

・調査相談件数

調査の内容は郷土史や地誌に関するものが多く、県内のみならず全国からも多数の照会がありました。

依頼区分	口頭	電話	文書	メール	協力レファレンス	計
件数	7,976件	1,334件	146件	105件	66件 (県内37, 県外29)	9,627件

注:「協力レファレンス」は県内公共図書館・公民館図書室からと県内図書館からの調査相談

ヘ 資料の利用状況

・閉架書庫資料の利用は図書1,860冊、逐次刊行物2,989冊、古書7,975冊、古書複製本288冊になりました。

・複写サービス(マイクロフィルム、カラーコピー含)の利用は8,691人で71,077枚、資料保存上電子複写ができない古書等の写真撮影(カメラは利用者持参)は63人、1,234冊、22,370コマでした。

・古書の特別利用は合計92件1,058冊に上りました。博物館等の展示への特別貸出は15件74冊、出版物への掲載等42件180冊、写真撮影34件1,285冊(ビデオ含)、テレビ放映等が1件1冊でした。

ト 寄贈資料

- ・佐々木孝氏(仙台市)から『新增補西国奇談』13冊、『八頭ノ大蛇』(日本昔噺第9号)1冊の寄贈を受けました。
- ・佐藤賢一氏(さいたま市)から『羅経及方位之説』1冊の寄



贈を受けました。

(5) 利用サービス班 一般図書

イ 利用状況

- ・今年度の貸出冊数は、587,837冊となり前年度より29,596冊減少しました。
- ・個人利用者の年間新規登録者数は11,534人で、年度末現在の登録者総数は215,114人になりました。
- ・障害者サービスとしての一般図書の郵送貸出は、年間234件864冊の利用でした。

ロ 資料整理状況

- ・購入11,212冊、寄贈2,946冊の受入・整理を行いました。

ハ その他

- ・中学生・高校生の総合的な学習の時間における職場体験学習として9件、32人を受け入れました。
- ・特別整理期間には、開架資料についての蔵書点検作業を実施しました。

(6) 利用サービス班 視聴覚資料

イ 利用状況

今年度の個人貸出点数は200,939点(平成16年度209,070点)で、前年度と同様20万件を超えました。開館日1日あたりの貸出点数は702.5点で昨年度と比べ23点の減となっています。

媒体別に見ると貸出点数の52%がビデオテープ、43%がCD、4%が楽譜となっています。

障害者サービスとしての朗読テープ、ビデオ、CDの郵送

貸出数は1,142点で、前年度比287点減となりました。

ロ 資料整理状況

今年度の購入資料点数は664点で、ビデオテープ(207点)、DVD(216点)、CD(130点)を中心に県民の学習ニーズ、教育の今日的課題、保存の必要性(郷土資料を含む)の視点から収集、受入・整理を行いました。

そのほか、寄贈資料を含めて、674点の整理を行いました。

ハ 館内視聴サービス

本年度の利用状況は第5-14表のとおりでした。利用者数で前年度比3,012人減となっていますが、4万5千人を超える利用者数がありました。開館一日あたりの利用者数は約159人です。

ニ 上映会、LDコンサート

年間55回の上映会を実施し、857人の参加者がありました。1回当たりの参加者数は15.5人でした。

ホ 音楽鑑賞講座

クラシック音楽に関する講義と鑑賞、在仙演奏家によるミニコンサートを併せて実施しました。90人の申込みを受け、当日は83人の参加者がありました。

ヘ その他

宮城県視聴覚ライブラリーとして、宮城県視聴覚教育連絡協議会に参加し「視聴覚教材・機材利用状況調査」の刊行や「宮城県自作視聴覚教材コンクール」の運営支援を行いました。

第5-14表 館内視聴ブースの利用受付件数・利用者数

年度	受付総数 (件)	資料別内訳						利用者数 (人)
		ビデオ	LD	CD	CD-ROM	DVD	その他	
17	32,999	12,740	1,222	126	230	18,647	34	45,319
16	35,077	13,487	1,517	216	354	19,464	39	48,331

## (7) 利用サービス班 児童資料

### イ 利用状況

- ・就学前の子どもの登録が、前年度に比べて延べ106人の減となりました。
- ・学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、小学校2件、中学校12件、高等学校1件、延べ459人の利用がありました。また、「職場体験学習」は、中学校8件、高等学校は2件、延べ33人の受入をしました。
- ・子ども図書室の施設見学利用は、幼稚園3件、小学校4件、中学校3件、養護学校2件、延べ429人の利用がありました。
- ・児童文化資料(宮城県立保育専門学院からの寄贈)の貸出は、45団体、延べ144点の利用がありました。

### ロ 資料整理状況

- ・一般図書(開架・閉架)の中から児童に関する研究書等を児童資料研究室へ整理換え、配架をしました。
- ・県内小学校の修学旅行に関する調べ学習資料として、会津若松市の社会科副読本小学生版・中学生版を市教育委員会へ寄贈依頼し、受入と整理をしました。
- ・寄贈本等の受入をしました。
- ・貸出用図書(閉架)の配架整理並びに2階(閉架)書架の図書約3,000冊を4階に移動し、配架整理をしました。
- ・許諾申請を受けた街頭紙芝居のレプリカ作成(1,300枚)をしました。

### ハ 行事・その他

- ・第36回子どもの本展示会を4月21日から5月1日まで開催し、延べ761人の入場者がありました。また、県内公共図書館・公民館図書室のうち希望機関への移動展示会を行い、24会場で延べ5,665人の入場者がありました。
- ・小学校への移動展示会は、希望校46校で開催、入場者は11,534人ありました。
- ・子ども読書活動推進への取り組みとして、読み聞かせ団体による生涯学習推進事業「秋のおはなし会」(10月1日)と協働し、読み聞かせ関連資料を展示しました。約150人の入場がありました。
- ・「人形劇講習会」(3月1日)を開催。おはなし会や事業等で子どもたちの興味、関心、参加意欲を一層喚起するため、おはなし会の導入・補助技法を学びました。宮城県図書館ボランティア、県内公共図書館ボランティア、公民館ボランティア、図書館職員、公民館職員、県内読み聞かせ団体会員が参加しました。
- ・「ブックツリーカード」読書記録カードの配布をはじめました。
- ・「おすすめの本1冊」を募集。年2回子ども図書室に掲示紹介をしました。
- ・職員による「おはなし会・紙芝居の上演会」を月1回、実施しました。
- ・子どもの読書の日(4月23日)を利用して、「1年間に貸出しの多い絵本と読み物の本の紹介」を掲示しました。
- ・小中高校生の読書感想画コンクール入選作品(県内)を、子ども図書室前廊下に、5月から7月までの期間で展示紹介をしました。
- ・月1回発行の子ども図書館だより「子どもの森・本のいずみ」は、前年度に引き続き手作り発行(80号~91号)しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布、ホームページにも紹介をしました。

### ニ 国登録有形文化財指定

- ・街頭紙芝居(201タイトル、5,333巻、52,925枚)、印刷紙芝居等が国の登録有形文化財(美術工芸品)に指定されました。

## 6 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業

### 1 事業の理念と概要

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自身と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、総合戦略プロジェクトです。「貴重資料修復保存事業」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門に合計12のメニュー(事業)を設け、平成16年度を初年度に15カ年の長期計画を立てています。

「貴重書の修復保存事業」は、①貴重資料の体系的学術調査、②国・県有形文化財の指定に向けた準備、③修復保存・レプリカの作成、④修復成果品・レプリカの公開、の4つのメニューで構成されています。

本館特殊コレクションである「伊達文庫」「養賢堂文庫」「青柳文庫」等の古典籍(総計約57,500冊;和古書およそ38,000冊、漢籍・韓書19,000冊、古洋書500冊)などの貴重資料を対象に実施し、平成17年度には『環海異聞』『奥州名所図会』など、6件38点が県有形文化財の指定を受けました。『仙台城下絵図』等の修復を行い、レプリカを作成しました。10月に本館展示室で、平成18年1月に県庁1階ロビーで、3月には県庁講堂で公開しました。

「次世代育成プロジェクト」は図書館の知的財産、人的資源を活用し、22世紀のふるさと・みやぎを牽引する人材を育てようとする事業で、①古典への誘い(対象;高校、市町村)、②名作への誘い(同)、③子どもの本の移動展示会(市町村、小・中学校)、④文化財レプリカの移動展示会(高校・一般)、⑤閉架書庫の見学(市町村、学校司書)、⑥本館紀要『叡智の杜』への市町村、学校司書の参加(市町村、学校司書等)、⑦貴重図書等の企画展示会(一般)、⑧プロジェクト22(一般)、など8つのメニューで構成されます。

これらのメニューの実施にあたっては、それぞれ図書館、教育現場、地域社会の3者による連携を描いています。

### 2 貴重資料の修復・保存プロジェクト

#### (1) 貴重資料の体系的学術調査

他の事業よりも早く、平成15年度を初年度として第1次調査が実施され、『禽譜』『環海異聞』『関算四伝書』等についての評価を行い、報告書を作成しました。平成16年度の第2次調査では、朝鮮古刊本、『環海異聞』などを対象に調査、県有形文化財指定という結果に活かされました。

平成17年度の第3次調査では、福島大学名誉教授・小林清次氏、東亜大学教授・川村博忠氏ほか計9名の専門調査員により、『石川文庫』『宮城県漁具図解』などを対象に調査、報告書を作成しました。

#### (2) 国・県有形文化財の指定に向けた準備

本館収蔵の貴重資料を対象に、(1)の「貴重資料の体系的学術調査」の調査報告書等に基づき、国・県有形文化財指定への準備を進めるものです。平成15年1月に『禽譜』『関算四伝書』等、9件(11帖、10巻、783冊、付図12枚)が本県有形文化財に指定されたことをはじめとし、平成15年7月には『仙台城下絵図』『伊能図』等、11件970点が、平成16年6月には朝鮮古刊本46部262冊が指定されました。平成17年7月には『環海異聞』のほか、本県出身の英語学者・斎藤秀三郎の自筆原稿など、6件38点が指定され、平成18年3月末現在、県指定有形文化財の数は27件2,086点となっています。一方、国の重要文化財については、平成2年に『坤輿万国全図』が指定を受けています。平成17年度は、3月の文化審議会を経て、「街頭紙芝居」5,333巻(201タイトル、52,925枚/井上藤吉氏旧蔵)、「印刷紙芝居」312巻(286タイトル、4,150枚)、紙芝居映写機用スライド4巻(4タイトル、19枚)、紙芝居映写機1台、街頭紙芝居舞台1台、太鼓1張など、紙芝居資料5,652点が、国の登録有形文化財(美術工芸品)として登録されました。

#### (3) 資料の修復・保存とレプリカの作成

本館収蔵の視聴使用の損傷を修復し、写真撮影、高精細画像データとレプリカを作成するもので、平成16年度から15カ年の長期計画により進めてきました。修復にあたっては文化庁の指導のもと、京都国立博物館文化財保存修理所において、国宝修理装演師連盟の手によって行われています。平成17年度は『仙台領内道程絵図』等の絵図類12冊を修復し、絵図2冊、『魚蟲譜』43点のレプリカを作成しました。合わせて写真撮影を行い、デジタルデータ(画像)も制作しました。

#### (4) 修復成果品・レプリカの公開

「貴重書の修復保存事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館展示室、県庁ロビーにおいて、修復成果品やレプリカの展示会を実施するとともに、本館ホームページでデジタルデータを公開しています。

平成17年度は、『仙台領国絵図』『魚蟲譜』等のレプリカ展示会を本館、県庁講堂で行いました。また、同資料のデジタルデータは本館ホームページの「叡智の杜Web」で公開しました。

### 3 次世代育成プロジェクト

#### (1) 「古典への誘い」

一県内高等学校等を会場とした古典文学複製本の巡回貸出—高等学校の授業にも登場する『源氏物語絵巻』『徒然草』等、古典文学の複製資料5点を1セット(全5セット)とした巡回貸出を実施しています。

平成17年度高校では、角田高等学校、貞山高等学校など10校で実施し、このうち涌谷高等学校では複製資料を活用した授業が実践されました。市町村では女川町生涯教育センター、角田市図書館の2施設で開催されました。

#### (2) 「名作への誘い」

一県内高等学校等を会場とした近代文学複製本の巡回貸出—夏目漱石の『吾輩は猫である』、芥川龍之介の『羅生門』、石川啄木の『悲しき玩具』等、近代文学を代表する作品(初版本)の複製本40冊を1セット(全2セット)とした巡回展示で、名作を美しい装丁とともに鑑賞する機会を設けました。平成17年度は追桜高等学校、名取高等学校など4校で開催しました。

#### (3) 「子どもの本の移動展示会」

毎年、本館、市町村図書館、公民館図書館において開催してきた「子どもの本展示会」について、会場を県内小・中学校にまで拡大して実施するものです。現在、本県では子ども読書推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みです。

平成17年度は、市町村図書館・公民館図書室では計24館で開催され、入場者数は5,665人、また小学校46校で開催され、入場者数は11,534人となりました。

#### (4) 「文化財レプリカの移動展示会」

一県内高等学校・市町村図書館等を会場とした文化財レプリカの移動展示会—

本館貴重資料・文化財レプリカの移動展示会を、県内高等学校、市町村図書館等を感情に開催し、みやぎの叡智を身近に鑑賞する機会を提供する事業です。

平成17年度は、有備館(岩出山町)、白石市図書館など12会場において、『坤輿万国全図』『禽譜』等レプリカの展示会を開催しました。登米高等学校、蔵王高等学校では、文化財レプリカを活用した授業が実施され、生徒たちと文化財のふれあいの場をつくることができました。

#### (5) 「閉架書庫の見学」

一市町村図書館・県内高等学校の司書等を対象とした閉架書庫見学—

県内高等学校の図書館司書等を対象に、教育の場において、約100万冊に及ぶ本館資料の活用を促すことを目的に実施しています。本館職員の案内のもと、閉架書庫の見学を行い、図書館利用についての意見交換を行っています。

平成17年度は、築館高等学校の教員と生徒計20名のほか、大河原教育事務所管内中学校図書部会教員、大和町公民館図書室職員など8団体が閉架書庫を見学し、本館所蔵資料と機能についての理解を深めました。

#### (6) 宮城県図書館紀要『叡智の杜』への寄稿

一市町村図書館・県内高等学校司書による寄稿—

市町村図書館職員、学校図書館司書との連携を強化し、相互にレベルアップを図るため、論文、研究レポート、読書活動の事例報告などについて、本館紀要『叡智の杜』への寄稿を促すものです。

『叡智の杜』は平成15年度に創刊され、平成16年度に第2号を発行。平成17年度の第3号においては、「矢本町立図書館から東松島市図書館として」(東松島市図書館司書)、「“朝読書”との出会い」(石巻西高等学校司書)、「図書館展示を向上させる“発見と感動”の視点」(東北大学附属図書館司書)等、10名から寄稿がありました。

#### (7) 貴重図書等の企画展示会

県指定有形文化財等の本館貴重書は、本館展示室を会場に、特別展示会「きらめく叡智と美のしずく展」としてシリーズで開催しています。これまで、第1回・平成15年2月に『禽譜』『関算四伝書』等の伊達文庫収蔵貴重書を中心に紹介、第2回・平成15年5月に『仙台領国絵図』『伊能図』等の古地図類、第3回・平成16年6月に朝鮮古刊本、『ビュフォン博物誌』等の蘭書等を展示、一般公開しました。第4回・平成17年6月は、『環海異聞』『奥州名所図会』、本県出身の英語学者・斎藤秀三郎の自筆原稿等の展示を行いました。

また、平成16年度に本館職員の自由な発案を活かした企画展示会をスタートさせましたが、平成17年度は、『明治・夢の絵本〜ちりめん本と『大日本の児童の歌』〜』『平間至展〜現在を映す平間至写真の世界〜』等、7回の開催となりました。

#### (8) 「プロジェクト22」—宮城県図書館活用推進事業—

平成16年度にスタートした新規プロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。本館職員による6つのチーム(各3〜6人)を編成し、次のような行事を実施しました。

▽Aチーム:「やってみよう絵本ってこんなにおもしろい〜読書が楽しくなる2つのゲームをとってお〜」

「読書へのアニメーション」の一環として、「これ、きみの役だよ」等の活動を通して、子どもたちに読書の楽しさを味わってもらいました。また、保護者の方には、読書手法を紹介しました。7月に実施し、34名の参加がありました。

▽Bチーム:「記念日探検隊〜図書館で記念日を体験してみませんか〜」

参加者の記念日に関する資料検索とおして、図書館資料検索のコツ、図書館資料の利用方法等を紹介しました。8月実施で、夏休み中の親子4組(10名)が自身の記念日に関する資料検索に挑戦しました。

▽Cチーム:「ちょっとだけ図書館員〜図書館の仕事体験してみませんか〜」

カウンター業務、ラベル貼付の図書装束作業など、図書館員の仕事を体験してもらう企画です。9月実施で、8名の参加があり、図書館業務への理解を促すことができました。

▽Dチーム:「県民参加ゼミナール「本と書評の考現学—書評でたどる文学界今昔—」

普段「本」にとって「わき役」となっている「書評」に光をあてた企画です。「第二次世界大戦」と「二世作家」をキーワードに選んだ11冊の本について書評の読み比べを行い、時代背景や世相にふれながら、本と作家の魅力の再発見を試みました。仙台白百合学園高等学校の放送部員2名の協力もいただき、作品の朗読も行いました。11月に実施し、42名の参加がありました。

▽Eチーム:「パソコン・はじめの一步〜マウス・キーボード操作からインターネットまで〜」

パソコン初心者を対象に、マウス、ワープロソフト等の基本操作からインターネットでの本館蔵書検索まで、実習講座を行いました。12月に実施し、2日間で延べ21名の参加がありました。

▽Fチーム:「紙であそぼう!〜和綴じ本と立体カードをつくってみよう〜」

和綴じ本の作製とおして、読書意欲の喚起をねらいとした企画でした。製本、本の装丁にも関心をもってもらうことができました。1月に実施し、12名の参加がありました。

以上、「プロジェクト22」の6つの企画に加えて、前年度の成果を踏まえて、「図書館ツアー」と「OPAC(館内蔵書検索機)講習会」を定例化して隔月実施しました。図書館ツアーは計5回で、延べ68名の参加がありました。「OPAC講習会」は計5回実施し、延べ29名が参加しました。

「プロジェクト22」における取り組みは、県民の図書館理解をうながす機会となりましたが、同時に職員の意識向上、組織の活性化を図る好機ともなりました。

7 平成17年度図書館資料利用状況等（統計）

(1) 受入資料一覧表

図書・視聴覚資料（第5-15表）

（現在高＝平成18年3月末の蔵書数）

区 分	購 入	寄 贈	そ の 他	合 計	除 籍 等	引 増 減	現 在 高
一 般 図 書	11,212	2,946	287	14,445	2,090	12,355	631,684
洋 書	62	123		185	9	176	16,778
ハンブル資料	19			19		19	1,299
中 国 書	4	190		194		194	5,795
郷 土 資 料	780	545		1,325	5	1,320	52,851
和 古 書	1	15		16		16	38,415
漢 籍							18,886
地 図 資 料	19			19		19	9,591
貸出用児童書	2,816	84	391	3,291	18	3,273	57,691
保存用児童書	2,781	208		2,989	1,714	1,275	79,237
貸出用紙芝居					34	-34	713
街頭紙芝居			13	13		13	5,333
教育紙芝居			47	47		47	1,473
電 子 図 書		15		15		15	922
マイクロフィルム	303	10		313		313	16,105
館外用図書							11,439
図書資料小計	17,997	4,136	738	22,871	3,870	19,001	948,212
16mmフィルム							1,683
録画テープ（Uマチック）							24
録画テープ（ベータ）							30
録画テープ（VHS）	207	117		324	23	301	14,204
8mmフィルム							18
CD-ROM（主に映像）			1	1		1	339
レ コ ー ド			1	1		1	5,871
コンパクトディスク	130	191	16	337	12	325	15,754
楽 譜	6	262		268	5	263	10,591
レーザーディスク			2	2		2	2,339
DVDビデオ	216	45		261		261	1,720
カセットテープ	105	9	30	144		144	4,295
オープンリールテープ							773
スライドフィルム							1,174
視聴覚資料小計	664	624	50	1,338	40	1,298	58,815
総 計	18,661	4,760	788	24,209	3,910	20,299	1,007,027

逐次刊行物（第5-16表）

（単位：種）

区 分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑 誌 （紀要を含む）	新聞雑誌室	8,006	1,521	455	1,066	38
	みやぎ資料室	2,219	911	20	891	
	子ども図書室	159	37	14	23	
年 鑑 ・ 年 報	新聞雑誌室	2,615	541	253	288	
	子ども図書室	8				
行 政 資 料	新聞雑誌室	1,993	311	180	131	
	みやぎ資料室	1,959	540	1	539	
新 聞	新聞雑誌室	590	94	67	27	1
	みやぎ資料室	270	125		125	
	子ども図書室	2	2	2		
計		17,821	4,082	992	3,090	39
前年度		16,932	4,434	1,046	3,388	46

\*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

## (2) 開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数 (第5-17表)

	開館日数(日)	入館者数(人)	1日平均 入館者数(人)	個人貸出 冊数(冊)	1日平均 貸出冊数(冊)	調査相談 件数(件)
平成17年4月	25	45,764	1,831	83,717	3,349	2,855
5月	25	50,354	2,014	87,730	3,509	3,063
6月	25	51,427	2,057	84,006	3,360	2,904
7月	26	58,019	2,232	99,161	3,814	3,878
8月	25	58,258	2,330	91,415	3,657	4,730
9月	25	51,075	2,043	85,076	3,403	3,710
10月	25	51,009	2,040	88,949	3,558	3,661
11月	25	49,479	1,979	85,343	3,414	3,671
12月	23	39,453	1,715	76,117	3,309	2,810
平成18年1月	18	34,700	1,928	66,597	3,700	2,794
2月	18	33,912	1,884	63,889	3,549	2,826
3月	26	46,417	1,785	85,239	3,278	2,783
合計	286	569,867	1,993	997,239	3,487	39,685
前年度合計	285	605,559	2,125	1,039,410	3,647	44,770
増減	+1	-35,692	-132	-42,171	-160	-5,085

## (3) 利用登録者数 (第5-18表)

	利用登録者数 (人)	対前年比(人)	新規登録者数 (人)	実利用者数 (人)
平成18年3月末	215,114	+11,528	11,534	46,801
平成17年3月末	203,586	+14,135	14,148	49,859

\*対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

\*実利用者数は、年度内に登録、貸出等の図書館利用が1回以上あった利用者数を示す

居住市町村別内訳 (平成17年度末で構成比の多い順)

○利用登録者数 (第5-19表)

	17年3月末現在		18年3月末現在	
	登録者数(人)	構成比(%)	登録者数(人)	構成比(%)
仙台市	156,626	77.0	165,114	76.8
(内訳)青葉区	50,626	24.9	53,406	24.8
宮城野区	15,055	7.4	15,890	7.4
若林区	6,669	3.3	7,030	3.3
太白区	14,946	7.3	15,659	7.3
泉区	69,330	34.1	73,129	34.0
富谷町	12,885	6.3	13,769	6.4
大和町	4,707	2.3	4,971	2.3
利府町	3,687	1.8	3,904	1.8
多賀城市	3,185	1.6	3,392	1.6
名取市	3,066	1.5	3,223	1.5
古川市	2,483	1.2	2,714	1.3
塩竈市	2,241	1.1	2,408	1.1
その他	14,706	7.2	15,619	7.2
合計	203,586	100.0	215,114	100.0

○個人貸出冊数 (第5-20表)

	17年3月末現在		18年3月末現在	
	貸出冊数(冊)	構成比(%)	貸出冊数(冊)	構成比(%)
仙台市	823,588	79.3	790,173	79.2
(内訳)青葉区	255,434	24.6	236,346	23.7
宮城野区	42,662	4.1	39,776	4.0
若林区	11,214	1.1	9,734	1.0
太白区	36,923	3.6	34,155	3.4
泉区	477,355	45.9	470,162	47.1
富谷町	97,182	9.3	97,240	9.8
大和町	26,359	2.5	25,800	2.6
利府町	14,546	1.4	13,477	1.4
古川市	9,851	0.9	8,554	0.9
多賀城市	8,123	0.8	7,087	0.7
塩竈市	6,887	0.7	6,385	0.6
名取市	7,186	0.7	6,378	0.6
その他	45,688	4.4	42,145	4.2
合計	1,039,410	100.0	997,239	100.0

## (4) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数(第5-21表)

	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他						
蔵書冊数	25,241	34,568	71,264	115,637	43,665	41,765	26,043	55,768	11,752	160,541	45,440	23,872	110,152	144,447	58,815	38,057	1,007,027
構成比*1	2.5%	3.4%	7.1%	11.5%	4.3%	4.2%	2.6%	5.5%	1.2%	16.0%	4.5%	2.4%	10.9%	14.3%	5.8%	3.8%	100.0%
構成比*2	4.3%	5.9%	12.2%	19.7%	7.4%	7.1%	4.4%	9.5%	2.0%	27.5%							
前年度計	24,673	33,556	69,087	113,500	41,452	40,465	25,660	54,283	11,843	157,913	46,897	23,483	108,827	139,873	57,517	37,699	986,728
増減	568	1,012	2,177	2,137	2,213	1,300	383	1,485	-91	2,628	-1,457	389	1,325	4,574	1,298	358	20,299
貸出冊数																	
17年4月	1,337	2,832	4,299	7,069	3,617	5,457	2,224	5,312	939	16,378	73	205		16,672	17,303		83,717
5月	1,263	3,000	4,209	7,910	4,143	6,028	2,660	5,532	909	16,677	87	208		16,646	18,458		87,730
6月	1,146	2,783	4,129	7,263	3,979	5,827	2,469	5,268	899	16,847	62	181		15,926	17,227		84,006
7月	1,263	3,122	4,909	8,298	4,554	6,527	2,813	6,158	1,119	18,306	86	200		22,527	19,279		99,161
8月	1,097	2,870	4,361	7,429	4,285	5,682	2,254	5,479	1,079	17,715	66	210		21,340	17,548		91,415
9月	1,053	2,795	4,310	7,231	3,560	5,848	2,189	5,403	935	17,101	85	223		17,266	17,077		85,076
10月	1,140	2,888	4,069	7,466	4,022	5,887	2,376	5,412	843	17,853	118	190		18,743	17,942		88,949
11月	1,158	2,839	3,948	7,396	3,678	5,845	2,163	5,146	892	17,108	69	185		17,705	17,211		85,343
12月	1,062	2,604	3,525	6,551	3,119	5,168	1,989	4,482	757	15,653	45	173		16,134	14,855		76,117
18年1月	978	2,327	3,316	6,014	2,848	4,457	1,636	3,986	763	13,848	54	156		13,030	13,184		66,597
2月	828	2,019	3,075	4,750	2,845	4,226	1,631	3,953	697	13,082	52	156		13,392	13,183		63,889
3月	1,136	2,871	3,725	5,924	3,560	5,477	2,086	5,297	890	17,303	67	149		19,082	17,672		85,239
年度計	13,461	32,950	47,875	83,301	44,210	66,429	26,490	61,428	10,722	197,871	864	2,236	-	208,463	200,939	-	997,239
構成比*1	1.3%	3.3%	4.8%	8.4%	4.4%	6.7%	2.7%	6.2%	1.1%	19.8%	0.1%	0.2%		20.9%	20.1%		100.0%
構成比*2	2.3%	5.6%	8.2%	14.2%	7.6%	11.4%	4.5%	10.5%	1.8%	33.9%							
前年度計	12,420	32,995	51,240	92,496	47,098	67,891	27,547	66,953	12,483	200,239	3,280	2,791	-	212,907	209,070	-	1,039,410
増減	1,041	-45	-3,365	-9,195	-2,888	-1,462	-1,057	-5,525	-1,761	-2,368	-2,416	-555		-4,444	-8,131		-42,171

構成比\*1：対総数での構成比を算出したもの 構成比\*2：一般図書のうちNDC分類付与済みの資料内での構成比を算出したもの

## 館内貸出冊数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17年度	5,175	5,920	6,153	6,808	6,990	6,089	6,035	5,744	4,914	4,192	3,821	5,629	67,470
16年度	5,797	6,271	6,102	7,047	7,620	6,362	6,556	5,948	5,559	6,120	4,420	4,215	72,017
増減	-622	-351	51	-239	-630	-273	-521	-204	-645	-1,928	-599	1,414	-4,547

## (5) 古書閲覧及び特別利用 (第5-22表)

	閲覧利用	特 別 利 用									
		特別貸出	撮 影	出 版	掲 載	翻 刻	ビ デ オ	放 送	装 飾	計	
17年4月	利用件数	0	1			3					4
	利用冊数	0	4			8					12
5月	利用件数	4	2	2		3					7
	利用冊数	30	3	14		10					27
6月	利用件数	7		3		3					6
	利用冊数	62		11		5					16
7月	利用件数	11		4		3					7
	利用冊数	286		10		8					18
8月	利用件数	13	3	7		3			1		14
	利用冊数	1,432	18	377		5			1		401
9月	利用件数	14	3	5		3					11
	利用冊数	795	17	22		9					48
10月	利用件数	14				3					3
	利用冊数	611				4					4
11月	利用件数	14	1	1		1					3
	利用冊数	585	1	5		6					12
12月	利用件数	13		4		4					8
	利用冊数	1,797		609		5					614
18年1月	利用件数	14		2		1					3
	利用冊数	401		9		1					10
2月	利用件数	19	1	3		3					7
	利用冊数	1,929	10	220		78					308
3月	利用件数	7	4	3		12					19
	利用冊数	47	21	8		41					70
計	利用件数	130	15	34	0	42	0	0	1	0	92
	利用冊数	7,975	74	1,285	0	180	0	0	1	0	1,540
前年度計	利用件数	119	38	38	1	71	1	2	2	0	153
	利用冊数	5,571	219	496	6	330	1	3	3	0	1,058

## (6) 調査相談の利用 (第5-23表)

(単位:件)

	電 話	文 書	E-mail	口 頭	その他	計
17年4月	664	38	40	2,112	1	2,855
5月	698	16	33	2,316		3,063
6月	610	19	21	2,249	5	2,904
7月	652	26	38	3,161	1	3,878
8月	703	27	50	3,949	1	4,730
9月	674	55	64	2,916	1	3,710
10月	668	30	30	2,932	1	3,661
11月	599	18	32	3,022		3,671
12月	504	25	21	2,259	1	2,810
18年1月	422	15	27	2,329	1	2,794
2月	516	63	71	2,171	5	2,826
3月	439	100	29	2,214	1	2,783
計	7,149	432	456	31,630	18	39,685
前年度計	7,929	521	504	35,785	31	44,770

## (7) 文献複写の利用

## ○種類別枚数 (第5-24表)

種 別	枚 数	
電子複写	白 黒	171,592 (185,175)
	カラー	587 (595)
マイクロフィルム	17,557 (15,969)	
写 真 撮 影	22,741 (121)	
計	212,477 (201,860)	
月平均	17,706 (16,822)	

## ○受付窓口別枚数 (第5-25表)

種 別	枚 数
一 般 図 書	28,709 (29,864)
調 査 相 談	26,662 (32,274)
新 聞 雑 誌 室	63,659 (71,369)
み や ぎ 資 料 室	93,447 (68,353)
計	212,477 (201,860)

( ) 前年度

(8) 図書館間の相互協力

協力貸出冊数 (第5-26表)

図書館名	16年度	17年度	図書館名	16年度	17年度
仙台市民	1,305	1,181	蔵王町	416	475
仙台市広瀬	183	235	丸森町	15	2
仙台市宮城野	471	355	亘理町	526	505
仙台市榴岡	491	466	利府町	706	738
仙台市泉	567	552	加美町中新田	85	96
仙台市若林	845	508	加美町小野田	4	35
仙台市太白	423	695	小牛田町	1,082	1,149
石巻市	528	556	築館町	558	1,425
塩竈市	686	664	迫町	528	597
古川市	483	754	登米町	28	129
気仙沼市	320	551	矢本町	579	493
白石市	405	394	志津川町	180	189
名取市	738	722	本吉町	1,053	834
角田市	653	693	小計	14,917	16,148
多賀城市	653	651	公民館図書等	6,939	6,235
岩沼市	406	504	県外図書館等	2,250	2,123
			合計	24,106	24,506

協力貸出冊数(県外図書館等内訳) (第5-27表)

都道府県	16年度	17年度	都道府県	16年度	17年度
北海道	320	218	京都	40	28
青森	186	192	大阪	12	23
岩手	296	307	兵庫	7	10
秋田	138	149	奈良	7	9
山形	354	284	和歌山	0	0
福島	292	330	鳥取	13	6
茨城	28	39	島根	1	16
栃木	10	27	岡山	23	19
群馬	14	18	広島	0	5
埼玉	44	43	山口	5	10
千葉	45	72	徳島	3	2
東京	18	14	香川	1	1
神奈川	14	12	愛媛	5	11
新潟	108	53	高知	1	6
山梨	20	27	福岡	30	21
長野	30	31	佐賀	10	5
静岡	31	33	長崎	9	9
富山	10	4	熊本	26	1
石川	3	6	大分	1	1
福井	22	8	宮崎	6	6
岐阜	10	11	鹿児島	0	3
愛知	22	31	沖縄	2	12
三重	22	5			
滋賀	11	5	計	2,250	2,123

月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数 (第5-28表)

	貸出冊数(冊)			借受冊数(冊)				文献複写受付件数(件)			文献複写依頼件数(件)				協力レファレンス受付数(件)		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
17年4月	1,648	177	1,825	33	13		46	8	6	14		2	17	19	23	9	32
5月	1,724	201	1,925	62	20		82	15	6	21	1	3	9	13	20	2	22
6月	2,060	190	2,250	40	58		98	6	58	64		4	70	74	24	6	30
7月	1,928	222	2,150	46	36		82	16	34	50	2	6	33	41	12	6	18
8月	1,670	144	1,814	41	34		75	2	46	48		9	33	42	12	9	21
9月	1,814	180	1,994	64	36		100	6	14	20	1	1	24	26	19	8	27
10月	1,853	178	2,031	61	43		104	5	21	26			15	15	21	4	25
11月	2,258	194	2,452	41	38		79	11	27	38	1	10	22	33	19	2	21
12月	1,851	174	2,025	38	41		79	3	19	22		2	10	12	14	2	16
18年1月	1,670	141	1,811	34	30		64	5	3	8		3	13	16	11	1	12
2月	2,115	150	2,265	33	31		64	12	41	53		1	69	70	40	8	48
3月	1,792	172	1,964	46	27		73	14	6	20	5	17	29	51	10	6	16
計	22,383	2,123	24,506	539	407	0	946	103	281	384	10	58	344	412	225	63	288
前年度計	21,856	2,250	24,106	492	678	14	1,184	296	543	839	22	42	569	633	264	57	321

貸出依頼件数 (第5-29表)

(単位: 件)

	平成16年度	平成17年度
貸出依頼件数	22,072	22,935
所蔵件数	20,726	22,118
購入	497	262
借受・他館紹介等	154	59
提供不可	406	495
調査相談	321	288

宮城県図書館情報ネットワークシステム稼働実績 (第5-30表)

	平成16年度	平成17年度
貸出依頼件数	14,947件	16,531件
月平均	1,245.6件	1,377.6件
館当たり平均	553.6件	590.4件
所蔵館調査依頼	149件	59件
月平均	12.4件	4.9件
館当たり平均	5.5件	2.1件
参加図書館数	27館	28館
参加館増減	+3館	+1館



## (9) 障害者サービス

## 郵送貸出の利用 (第5-31表)

	新規登録	郵送貸出資料別						合計	
		図書	朗読テープ		点字雑誌	ビデオ	CD		
17年4月	0人	利用件数	23件	20件		4件	0件	0件	47件
		利用冊数	82冊	39タイトル	114点	6冊	0点	0点	202点
5月	0人	利用件数	21件	47件		0件	7件	11件	86件
		利用冊数	81冊	29タイトル	142点	0冊	17点	53点	293点
6月	0人	利用件数	25件	31件		7件	7件	14件	84件
		利用冊数	86冊	39タイトル	166点	8冊	17点	49点	326点
7月	0人	利用件数	27件	28件		4件	7件	12件	78件
		利用冊数	100冊	31タイトル	147点	4冊	24点	49点	324点
8月	0人	利用件数	32件	25件		6件	8件	11件	82件
		利用冊数	126冊	26タイトル	85点	6冊	27点	47点	291点
9月	0人	利用件数	30件	34件		6件	5件	12件	87件
		利用冊数	92冊	40タイトル	142点	6冊	15点	55点	310点
10月	0人	利用件数	26件	29件		6件	0件	0件	61件
		利用冊数	90冊	34タイトル	140点	6冊	0点	0点	236点
11月	0人	利用件数	24件	52件		6件	4件	13件	99件
		利用冊数	87冊	10タイトル	112点	7冊	16点	54点	276点
12月	0人	利用件数	30件	27件		5件	6件	7件	75件
		利用冊数	99冊	25タイトル	111点	7冊	15点	31点	263点
18年1月	0人	利用件数	29件	26件		6件	4件	9件	74件
		利用冊数	99冊	21タイトル	99点	9冊	15点	36点	258点
2月	0人	利用件数	24件	26件		5件	9件	13件	77件
		利用冊数	82冊	19タイトル	90点	8冊	20点	43点	243点
3月	0人	利用件数	33件	27件		8件	10件	18件	96件
		利用冊数	103冊	31タイトル	136点	13冊	23点	69点	344点
計	0人	利用件数	324件	372件		63件	67件	120件	946件
		利用冊数	1,127冊	344タイトル	1,484点	80冊	189点	486点	3,366点
前年度計	21人	利用件数	314件	281件		29件	90件	117件	831件
		利用冊数	1,127冊	386タイトル	1,455点	53冊	269点	432点	3,336点

## 音訳サービスの利用及び調査相談件数 (第5-32表)

		音訳サービス						計	調査相談件数
		朗読テープの作成		対面朗読		電話朗読			
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
17年4月	実施件数	1件	1件			3件	17件	22件	48件
	延べ時間	0.5時間	0.5時間			1.3時間	8.8時間	11.1時間	
5月	実施件数	1件	1件				4件	6件	26件
	延べ時間	0.5時間	2.0時間				4.0時間	6.5時間	
6月	実施件数	1件	1件			8件	7件	17件	43件
	延べ時間	0.5時間	2.0時間			4.1時間	7.3時間	13.9時間	
7月	実施件数	1件	1件			10件	10件	22件	47件
	延べ時間	0.5時間	2.0時間			5.7時間	8.4時間	16.6時間	
8月	実施件数	1件	1件			7件	15件	24件	83件
	延べ時間	0.5時間	2.0時間			2.6時間	12.3時間	17.4時間	
9月	実施件数	1件	1件	3件	1件	7件	8件	21件	63件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間	6.0時間	2.0時間	2.1時間	4.8時間	16.9時間	
10月	実施件数	1件	2件			4件	14件	21件	54件
	延べ時間	0.5時間	2.5時間			2.5時間	10.5時間	16.0時間	
11月	実施件数	2件	2件			3件	14件	21件	65件
	延べ時間	1.0時間	3.0時間			0.9時間	14.8時間	19.7時間	
12月	実施件数	1件	2件			5件	11件	19件	51件
	延べ時間	0.5時間	2.5時間			1.0時間	9.0時間	13.0時間	
18年1月	実施件数	2件	1件			4件	10件	17件	48件
	延べ時間	1.0時間	2.0時間			2.0時間	8.3時間	13.3時間	
2月	実施件数	2件	1件			3件	6件	12件	150件
	延べ時間	1.5時間	1.5時間			0.9時間	5.1時間	9.0時間	
3月	実施件数	1件	1件			8件	14件	24件	113件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間			1.3時間	12.0時間	15.3時間	
計	実施件数	15件	15件	3件	0件	62件	130件	226件	791件
	延べ時間	8.0時間	23.0時間	6.0時間	0.0時間	24.4時間	105.3時間	168.6時間	
前年度計	実施件数	3件	33件	0件	11件	55件	162件	253件	678件
	延べ時間	4.5時間	54.0時間	0.0時間	9.2時間	25.1時間	135.6時間	219.2時間	

(10) 生涯学習相談 (第5-33表)

	相談受付日数	相談受付件数	1日平均件数	受付方法別		相談内容別						
				面接相談	電話相談	学習機会イベント	施設	グループ	指導者	資格	情報源	その他
17年 4月	25	127	5.1	106	21	30	11	5	8	9	39	25
5月	25	182	7.3	146	36	65	15	17	20	3	35	27
6月	25	194	7.8	151	43	46	17	15	6	7	44	59
7月	26	171	6.6	150	21	55	12	8	8	2	56	30
8月	25	132	5.3	116	16	37	11	7	6	2	33	36
9月	25	131	5.2	116	15	38	18	5	7	1	31	31
10月	25	215	8.6	171	44	85	11	15	24	1	34	45
11月	25	168	6.7	155	13	75	16	8	6	4	23	36
12月	23	106	4.6	97	9	39	7	12	3	5	16	24
18年 *1月	23	138	6.0	123	15	48	12	7	6	1	21	43
*2月	24	167	7.0	143	24	70	7	6	12	2	26	44
3月	26	133	5.1	116	17	33	9	8	11	5	39	28
合計	297	1,864	6.3	1,590	274	621	146	113	117	42	397	428
構成比		100.0%		85.3%	14.7%	33.3%	7.8%	6.1%	6.3%	2.2%	21.3%	23.0%
前年度計	286	1,913	6.7	1,578	335	749	208	96	155	66	376	263

\*特別整理期間 (17年度=1/26~2/8, 16年度=2/24~3/9) 中も電話での生涯学習相談に対応しているため、相談受付日数が図書館の開館日数よりも多くなっている。

(第5-34表)

区分	相談者の男女別		相談者の年齢層別						計
	男	女	19歳以下	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳以上	
人数	1,158	706	42	148	285	202	424	763	1,864
構成比	62.1%	37.9%	2.3%	7.9%	15.3%	10.8%	22.7%	41.0%	100.0%
前年度計	1,131	782	46	201	268	246	417	735	1,913

(11) 施設見学状況 (第5-35表)

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		調べ学習		職場体験		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成17年 4月	0	0	0	0	3	16	0	0	0	0	3	16
5月	0	0	1	45	3	141	1	67	1	6	6	259
6月	0	0	4	74	5	139	2	39	1	6	12	258
7月	0	0	4	110	7	137	1	46	1	2	13	295
8月	0	0	2	29	1	47	0	0	1	5	4	81
9月	0	0	6	199	2	76	3	111	3	46	14	432
10月	1	21	2	37	2	115	2	48	3	11	10	232
11月	0	0	7	145	3	118	2	36	3	7	15	306
12月	0	0	2	58	1	50	1	20	2	6	6	134
平成18年 1月	0	0	0	0	2	120	0	0	0	0	2	120
2月	0	0	1	21	0	0	0	0	0	0	1	21
3月	0	0	1	16	0	0	0	0	0	0	1	16
合計	1	21	30	734	29	959	12	367	15	89	87	2,170
前年度合計	0	0	40	1,045	33	1,409	16	485	12	55	101	2,994

8 主催事業の概要

(1) 「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」

イ 特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成17年6月4日(土)~8月4日(木)	『叡智の杜にきらめく先人たち』 ~江戸から明治期における海外見聞から仙台見聞まで~ (県指定有形文化財(平成17年6月指定)資料を公開)
2	平成17年8月9日(火)~9月1日(木)	『東北歌壇を支えた歌人 扇畑忠雄追悼展』
3	平成17年10月8日(土)~12月1日(木)	『叡智の杜をめぐる魚蟲譜』 ~江戸博物館学の精華~
4	平成17年12月3日(土)~平成18年1月25日(水)	『浮世絵(レプリカ)展』
5	平成18年2月9日(木)~4月2日(日)	『紙芝居展』 ~日本が生んだメディアの世界~

ロ 企画展

回	開催期間	タイトル
1	平成17年5月7日(土)~6月30日(木)	『明治・夢の絵本』 ~ちりめん本と『大日本の児童の歌』~
2	平成17年7月2日(土)~9月1日(木)	『水木しげると街頭紙芝居』
3	平成17年9月3日(土)~11月3日(木)	『文学にみるみやぎ 近代編 東北歌壇を支えた歌人 扇畑忠雄追悼展』
4	平成17年11月5日(土)~12月28日(水)	『SFの父 ジュール・ヴェルヌ』
5	平成18年1月5日(木)~3月2日(木)	『図書館びっくり大賞』 ~こんな本もあったのか!??~
6	平成18年3月4日(土)~5月7日(日)	『平間至展』 ~現在を映す平間至写真の世界~

ハ 県庁移動展示

回	開催期間	場 所	タ イ ト ル	内 容
1	平成18年1月16日(月) ～1月20日(金)	1階・2階 ロビー	『きらめく貴重書の世界 ～江戸博物館学の精華～』	『禽譜』『魚蟲譜』 (複製資料)
2	平成18年3月13日(月) ～3月14日(火)	講堂	『きらめく叡智と美のしづく展』	『仙台領国絵図』 (複製資料)

ニ 「プロジェクト22」宮城県図書館活用推進事業～もっと身近な県図書館を目指して～

・職員6チーム(A～F)による自主企画事業

回	期 日	内 容	対象・参加人数
1	7月2日(土)	Aチーム「やってみよう絵本ってこんなにおもしろい」 ～読書が楽しくなる2つのゲームを通して～ ・「これ、きみの役だよ」「役に立つおまじないは？」の2つのアニメーション活動を通して、様々な読書活動があることを理解し、味わってもらおう。また、保護者に対し「読書へのアニメーション」「指導法」について説明を行う。	小学1～3年 18人 保護者等 16人 (計34人)
2	8月18日(木)	Bチーム「記念日探検隊」 ～図書館で記念日探してみませんか～ ・本館利用者が、館内検索機(OPAC)の利用に慣れ親しむことによって、本館資料の更なる有効活用を図る。	親子 4組 ・大人 4人 ・子ども6人 (計10人)
3	9月9日(金) (2回)	Cチーム「ちょっとだけ図書館員」 ～図書館の仕事を体験してみませんか～ ・カウンター業務、ブックレー業務等の日常業務を体験することにより、図書館サービスへの興味と理解を深めてもらう。	一般 ・午前 4人 ・午後 4人 (計8人)
4	11月26日(土)	Dチーム「本と書評の考現学」～書評でたどる文学界今昔～ ・参加者が様々な本の書評を通して、世相や時代背景、歴史の流れなどについて考えたり、その時代を振り返ることによって、新たな読書活動への意欲を持つ。	一般 42人
5	12月7日(水) 12月8日(木)	Eチーム「パソコン・はじめの一步」 ～マウス・キーボード操作からインターネットまで～ ・パソコン操作の基礎からインターネットの検索までを通して、Web OPACを用い、図書館資料の検索ができるようにする。	一般 ・1日目 10人 ・2日目 11人 (計21人)
6	1月13日(金)	Fチーム「紙であそぼう！」 ～和綴じ本と立体カードをつくってみよう～ ・表装、和綴じなどの技法を用い、実際に本を作成、修復して「本」そのものに対する意識を高める。	一般 12人

・図書館ツアー 5回実施、参加者延べ68人

回	期 日	内 容	対象・参加人数
1	6月24日(金)	ちりめん本等の企画展を中心に案内	一般 14人
2	8月18日(木)	街頭紙芝居展の案内	親子 8組 ・大人 8人 ・子ども12人 (計20人)
3	10月15日(土)	宮城県政ニュースのVTRを放映(場所:青柳館)	一般 12人
4	12月7日(水)	文化財レプリカ(「仙台城下絵図」(場所:研修室)、「禽譜」・「魚蟲譜」)を中心とした案内	一般 12人
5	2月15日(水)	マイクロフィルム等を中心とした逐次刊行物の案内	一般 10人

・OPAC(館内検索機)講習会 5回実施、参加者延べ29人

回	期 日	対象・参加人数	回	期 日	対象・参加人数
1	6月24日(金)	一般 12人	4	11月18日(金)	一般 2人
2	7月15日(金)	一般 5人	5	1月20日(金)	一般 1人
3	9月16日(金)	一般 9人			

(2)生涯学習関係事業

イ 子どもの本展示会

開催期間:平成17年4月21日(木)～5月1日(日)

会 場:ホール養賢堂

入場者数:延べ761人

ロ 音楽鑑賞講座&ミニコンサート

期 日:平成17年7月16日(土)

講 師:田村 輝頭 氏・鈴木 健治 氏・高橋 雅和 氏

参加者:83人

ハ 上映会・コンサート

期 日:毎月第2,第4土曜日,日曜日

参加者:延べ857人

ニ 生涯学習推進月間

・生涯学習サークル等作品展示会

場 所:生涯学習室 特設展示ブース

①ポーセラーツ作品展示

期 日:平成17年10月5日(土)～10月15日(土)

富谷町 ポーセラーツ工房Michipe代表 大谷 妙子 氏

②ちぎり絵作品展示

期 日:平成17年10月19日(水)～10月29日(土)

多賀城市 ちぎり絵サークル多賀城代表 大井 静江 氏

※ちぎり絵体験会(10月26日(水) 参加者11人)

・裁判官出前講座

期 日:平成17年10月8日(土)

場 所:ホール養賢堂

講 師:裁判官 中丸 隆 氏

内 容:「裁判員制度」について講演・質疑

参加者:19人

・生涯学習推進講演会

期 日:平成17年10月16日(日)

場 所:ホール養賢堂

講 師:中央大学名誉教授 池田 正孝 氏

演 題:「スライドで巡るヨーロッパの旅」

～アンデルセン生誕200年によせて～

参加者:40人

・テーマ講演会「身近な危険から身を守る」

回	期日	場所	講師	内容	参加者
1	10月6日 (木)	ミニアター 青柳館	県総務部県政情報公開室職員	個人情報を守るために	18人
2	10月13日 (木)	ミニアター 青柳館	県総務部危機対策課職員	宮城県沖地震の再来への備え	16人
3	10月20日 (木)	ミニアター 青柳館	県環境生活部食と暮らしの安全推進課職員	みやぎの食の安全安心確保を県民の手で	11人
4	10月27日 (木)	ホール 養賢堂	高橋 久子 氏	ヨガとウォーキングでストレス撃退	45人

・秋のおはなし会

期日：平成17年10月1日(土)  
場所：ホール養賢堂  
講師：ばんどらのおはなし会(代表：雲石 昭子 氏)  
おはなしの森(代表：相澤 美和 氏)  
早苗会(代表：半澤 和枝 氏)  
内容：各サークル等が選んだ絵本、紙芝居  
参加者：約150人

ホ エル・ネット「オープンカレッジ」

期日：平成16年5月～平成17年2月  
内容：文部科学省の衛星通信による大学公開講座の放映  
参加者：延べ169人

へ 子ども放送局

期日：毎週土曜日(第5土曜日は除く)  
内容：文部科学省の衛星通信による子ども向け番組の放映  
参加者：延べ38人

ト 読書推進講演会

期日：平成17年10月30日(日)  
会場：仙台白百合学園レジナパースホール  
講師：熊谷 達也 氏  
演題：「小説家になること 小説家であること」  
参加者：361人

チ みやぎ県民大学

テーマ「きらめく叡智の杜を訪ねて～仙台藩貴重書の世界～」  
5回実施 受講者 54人、延べ270人

回	期日	講師	内容
1	6月11日(木)	館長 伊達 宗弘	伊達文庫等に見る黎明の時代 一本館のあゆみ貴重書一
2	6月18日(土)	館長 伊達 宗弘	はじめて世界一周をした日本人 『環海異聞』の世界一
3	6月25日(土)	資料奉仕部長 早坂 信子	日本ではじめて開放された図書館 一青柳文庫：その歴史と蔵書の行方一
4	7月2日(土)	主任主査 内馬場みち子	いまに詠み継がれる叡智の結晶 一斎藤秀三郎と斎藤和英大辞典一
5	7月9日(土)	主任主査 佐々木 克敬	叡智の杜を巡る 一貴重書(レプリカ)見学と図書館ツアー一

リ 館長講座

テーマ「みちのくの歴史と文化を訪ねて」 6回実施 受講者延べ420人  
講師：館長 伊達 宗弘

回	期日	内容	受講者
1	9月17日(木)	みちのくの歴史と文化の源流を訪ねて	88人
2	10月22日(土)	奥州藤原氏の興亡と東北の夜明け	72人
3	11月19日(土)	洛陽を模した仙台藩の国づくり	74人
4	12月17日(土)	ヨーロッパへ馳せた夢 慶長遣欧使節団	60人
5	平成18年 1月21日(土)	近代化の警鐘を鳴らした三先人 (工藤平助、林子平、高野長英)	60人
6	2月25日(土)	明治天皇の東北巡幸	64人

ス 図書館ボランティア研修

・養成講座(本館ボランティア 平成17年度新規登録者(66人)を対象に実施)

①一般講座

期日：平成17年5月12日(木)

内容：宮城県図書館の概要、ボランティアについて、各活動担当者の紹介  
参加者：56人

②専門講座

活動分野ごとに、ボランティア登録を行い、専門講座を実施している。ただし、複数の専門講座を受講できることとしている。

・書架整理(全2回)〈平成17年度新規登録者 36人〉

回	期日	内容	参加者
1	5月25日(水)	ラベル(請求記号)・配架について	38人
2	6月1日(水)	ラベル(請求記号)・配架について	33人

・視聴覚(全2回)〈平成17年度新規登録者 17人〉

回	期日	内容	参加者
1	5月25日(水)	活動内容について・配架について	19人
2	6月1日(水)	活動内容について・配架について	16人

・読み聞かせ(全2回)〈平成17年度新規登録者 2人〉

回	期日	内容	参加者
1	6月17日(金)	読み聞かせの実演、子どもの本について、おはなし会について	7人
2	6月24日(水)	読み聞かせの実演、子どもの本について、おはなし会について	5人

・音訳(全6回)〈平成17年度新規登録者 20人〉

回	期日	内容	参加者
1	5月27日(金)	障害者サービス・音訳・著作権について	13人
2	6月2日(木)	音訳の基礎1 (音訳とは・日本語の基礎・呼吸法)	15人
3	6月19日(金)	音訳の基礎2 (発声・発音・鼻濁音・無声化)	13人
4	6月17日(金)	音訳の基礎3 (アクセント・読む基本)	13人
5	6月23日(木)	音訳の基礎4 (文章を読む)	13人
6	6月30日(木)	現在活動しているボランティアからの活動説明	13人

・展示室案内

回	期日	内容	参加者
1	6月24日(金)	特別展「叡智の杜にきらめく先人たち」展示説明	12人
2	7月14日(木)	企画展「水木しげると街頭紙芝居」展示説明	19人
3	8月10日(水) 8月17日(水)	特別展「東北歌壇を支えた歌人 扇 畑忠雄追悼展」展示説明	17人
4	10月14日(金) 10月19日(水)	特別展「叡智の杜をめぐる 魚蟲譜～江戸博物館学の精華～」展示説明	18人
5	11月9日(水) 11月17日(木)	企画展「SFの父 ジュール・ヴェルヌ」展示説明	14人
6	平成18年 1月13日(金) 1月18日(水)	企画展「図書館びっくり大賞～こんな本もあったのか!?～」展示説明	15人
7	3月10日(金)	企画展「平間至展 ～現在を映す平間至写真の世界～」展示説明	10人

・全体研修会

本館ボランティア登録者129人(新規66人、継続63人)を対象  
期日：平成18年2月22日(水)  
講演：「施設ボランティアの現在」  
講師：水谷 修 氏(東北学院大学教養学部教授)  
参加者：45人

(3) 市町村図書館支援事業

イ 公共図書館等初任者研修会

期日：平成17年5月11日(水)  
講話：「次代を牽引する図書館の使命」  
講師：宮城県図書館長 伊達 宗弘  
講義：「図書館サービスを考える視点」  
講師：宮城県図書館 内馬場 みち子  
ワークショップ「これからの図書館における『情報』の発信」

- 講師：宮城県図書館 佐尾 博基  
参加者：42人
- ロ 公共図書館長研修会  
期 日：平成17年7月8日（金）  
講 演：「大きくゆるやかな図書館協力組織とひとりの利用者」  
講 師：竹内 愨 氏（図書館情報大学名誉教授）  
グループ討議「図書館経営の現状と課題」  
参加者：午前33人，午後18人
- ハ 公共図書館等職員研修会1  
期 日：平成17年9月15日（木）・16日（金）  
講 演：「サービス計画と図書館評価」  
講 師：葉山 敦美 氏（座間市立図書館）  
演 習：「図書館サービス計画の企画・立案」  
参加者：17人
- ニ 公共図書館等職員研修会2  
期 日：平成18年1月19日（木）  
講演・演習：「図書館サービス計画のプランニングと評価」  
講 師：山崎 博樹 氏（秋田県立図書館）

- 参加者：22人
- ホ 読書活動研究集会  
期 日：平成17年12月16日（木）  
内 容：①「ブックトーク～子どもが読書を楽しむために～」  
②「ブックトークの実際」  
講演・指導：日本子どもの本研究会会員 山花 郁子 氏  
参加者：98人

(4) 図書館振興事業

- イ 宮城県図書館振興講演会  
期 日：平成17年11月5日（土）  
会 場：山元町中央公民館  
講 師：本川 達雄 氏  
（東京工業大学大学院生命工学研究科教授）  
演 題：「ゾウの時間 ネズミの時間 私の時間」  
参加者：65人

## 第7節 宮城県泉が岳自然の家

### 1 目 標

- (1) 泉ヶ岳の自然や地域の文化に親しみ豊かな心を養う。
- (2) 友情の輪を広げ，豊かな創造性とたくましい実践力を身につける。
- (3) 協同生活における勤労体験をとおして奉仕の心を高める。
- (4) 仲間との切磋琢磨により礼儀を重んじ身心を鍛える。

### 2 目標達成のための指針

施設の立地条件を生かした生涯学習に係わる研修事業の開発と実施に努める。

- (1) 生涯学習時代の要請に即した主催事業の計画と運営
  - ① 四季をとおして，自然に親しみ自然を大切にす心の涵養を目指した事業
  - ② 青少年の自立的な活動を育てる事業
  - ③ ボランティアの心を育てる事業
  - ④ 親子・世代間等の多彩な交流を図る事業
  - ⑤ 青少年教育，団体活動に寄与する指導者を育成する事業
  - ⑥ 余暇生活の充実発展を通し，自己啓発を支援する事業
- (2) 県民に開かれた青年の家の確立
  - ① 利用の拡大を図るための広報活動の強化
  - ② 利用者のニーズに根ざした活動の活性化を図る情報の提供
  - ③ 学校教育との融合の促進
  - ④ 地域社会，関係諸機関及び各団体との連携強化
  - ⑤ 誠意あるサービスの提供

### (3) 研修活動並びに指導体制の充実

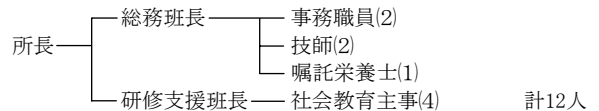
- ① 施設の特徴を生かした研修プログラムの開発と資料の整理
- ② P A（冒険プログラム）に関する内容の充実と資料の整備
- ③ 研修目的や内容に応じた弾力的運営

### (4) 施設設備の整備・拡充と活用

- ① キャンプ施設の利用拡大
- ② 日常的な施設設備の安全点検の実施と事故防止の徹底

### 3 組織と予算

#### (1) 組 織



#### (2) 予 算

項 目	金 額 (千円)
管 理 経 費	31,825
事 業 費	1,216
施 設 整 備 費	4,575
合 計	37,616

#### (3) 収容人数

- 本館 160人  
キャンプ場 40人

### 4 事業概要

#### (1) 主催事業 第5-36表

【小・中学生を対象とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	泉ヶ岳 チャレンジクラブ 自然学校	・アドベンチャー体験・野外炊飯 ・キャンプファイヤー・冒険プログラム(MAP) ・自然物を使った創作活動	小学4年生～ 中学3年生 50人	52人	104人	6.11(土) ～12(日)	泉が岳自然の家

【親子を対象とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	泉ヶ岳 親子でトライ	・テント生活体験・野外炊飯 ・キャンプファイヤー・泉ヶ岳ハイキング(軽登山) ・親子で作る(創作活動)	小学生を含む 家族 50人	47人	94人	7.16(土) ～17(日)	泉が岳自然の家 キャンプ場 泉ヶ岳山麓

【青年を対象とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	アウトドアチャレンジ ・イン・泉ヶ岳	・アウトドアチャレンジ・アウトドアクッキング ・冒険プログラム(MAP)・交流会	20歳～ 30歳代 40人	24人	48人	9.17(土) ～18(日)	泉が岳自然の家 泉ヶ岳山麓

【成人を対象とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	紅葉の 泉ヶ岳をたずねて	・泉ヶ岳登山コース・北泉ヶ岳登山コース ・植物観察ハイキング ・講義(植物・登山について)	20歳以上  90人	64人	128人	10.15(土) ～16(日)	泉が岳自然の家 泉ヶ岳 北泉ヶ岳

【小学生から大人までだれでも参加できる事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	スノーパラダイス ・イン・泉ヶ岳	・アルピンスキーコース ・雪遊び、そり遊びコース ・お楽しみ会(交流会)	小学生以上 (小・中学生は 保護者同伴) 70人	77人	152人	2.4(土) ～5(日)	泉が岳自然の家 泉ヶ岳スキー場 泉ヶ岳山麓
2	冬自然 歩くスキーでGO!	・歩くスキー技能講習 ・歩くスキーでのハイキング ・交流会	小学生以上 (小・中学生は 保護者同伴) 50人	49人	96人	2.18(土) ～19(日)	泉が岳自然の家 泉ヶ岳山麓 桑沼周辺

【指導者・ボランティアの育成を目的とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	野外活動 ボランティア養成講座	・ボランティア講義 ・野外活動研修(テント・野外炊飯)・自然観察研修 ・創作活動研修・キャンプファイヤー	20歳以上 30人	36人	72人	5.21(土) ～22(日)	泉が岳自然の家
2	MAP体験会	実際の活動を通してMAPの基本的な考え方について学 ぶとともに体験を通してMAPの楽しさを味わう	18歳以上 30人	29人	29人	6.25(金)	泉が岳自然の家
3	MAP講習Ⅰ	アクティビティの体験を通してMAPの理論や基本的な プログラミングについて学ぶ	18歳以上 (MAP体験会 修了者) 30人	9人	27人	7.7(水) ～9(金)	泉が岳自然の家
4	MAP講習Ⅱ	MAPの考え方をういた活動のプログラミングやアドバ ンチャーグループカウンセリング等の心理的手法について 学ぶ	18歳以上 (MAP講習Ⅰ 修了者) 30人	30人	90人	10.26(火) ～28(木)	泉が岳自然の家
5	ジュニア・リーダー 上級研修会	子ども会活動の直接的な指導に当たる年少指導者に子 ども会活動に必要な知識・技能・態度等についての研修を行 う	市町村から推薦 (JL中級研修 修了者) 90人	59人	177人	12.24(金) ～26(日)	泉が岳自然の家

(2) 利用状況 第5-37表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	23	21	20	15	13	69	854	77	209	1,209	2,743	2,725	1,588	0	18
						132	1,943	158	510	2,743					
5月	26	21	21	13	19	456	20	48	1,677	2,201	3,377	2,098	1,122	3	1,279
						1,081	77	102	2,117	3,377					
6月	26	14	22	8	9	189	0	28	241	458	1,159	1,041	714	3	118
						489	0	46	624	1,159					
7月	27	25	22	18	28	366	208	164	256	994	2,040	1,849	1,033	1	191
						728	513	307	492	2,040					

8月	26	24	21	20	36	473	104	172	373	1,122	2,778	2,694	1,656	3	84
						1,070	312	373	1,023	2,778					
9月	26	15	22	10	16	116	59	39	215	429	707	493	278	4	214
						230	59	53	365	707					
10月	26	19	21	10	14	133	10	45	427	615	1,134	928	519	4	206
						235	15	76	808	1,134					
11月	26	15	22	11	16	244	61	51	343	699	1,387	1,269	688	1	118
						520	115	98	654	1,387					
12月	24	11	19	6	10	131	43	26	69	269	570	542	301	3	28
						259	128	52	131	570					
1月	24	20	20	12	43	403	191	122	137	853	1,669	1,527	932	12	142
						875	334	217	243	1,669					
2月	24	18	20	9	18	229	124	87	159	599	1,069	812	354	7	257
						383	274	122	290	1,069					
3月	24	19	19	14	22	219	73	30	188	510	1,201	1,086	691	7	115
						432	255	60	454	1,201					
累計	302	222	249	146	244	3,028	1,747	889	4,294	9,958	19,834	17,064	9,876	48	2,770
						6,434	4,025	1,664	7,711	19,834					

## 第8節 宮城県松島自然の家

### 1 目標

奥松島に位置する広大な敷地と恵まれた自然環境のもと、野外活動、体験活動、スポーツ、研修等とおして県民の心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成を図る。

### 2 目標達成のための指針

#### (1) 特色ある事業の計画と運営

- ① 県民の一人ひとりが、野外活動・体験活動等とおして、精神的な充足感や新たな自己発見ができる豊かで生きがいのある生活が促進できるような企画運営を行う。
- ② 青少年が自然とのふれあいをとおして「自ら学ぶ力」や「たくましく生きる力」そして「他を思いやる心」を身につけられるような企画運営を行う。
- ③ 完全学校週5日制の実施に伴い、家族のふれあいの場となるような企画運営を行う。

④ 障害のある児童生徒やその関係者の野外活動体験を推進する。

⑤ 地域（東松島市、宮戸漁協等）との関わりのある活動プログラムを推進するとともに、一層のプログラム開発に努める。

#### (2) 野外活動・体験活動・スポーツ・研修等の自主的・計画的な実践への効果的な支援

- ① 県民の学習ニーズに対応した快適な野外活動の場の提供と宿泊研修を主体的に進めるための支援を行う。
- ② 「利用団体事前打合せ」をとおし、十分な情報提供と利用者間の調整に努める。
- ③ ゆとりある「活動プログラム」が企画できるように助言するとともに、打合せ後も電話連絡等できめ細かく支援をしていく。

#### (3) 利用者が満足するサービスの実施

- ① 利用者の自主性を尊重し、誰もが利用しやすい施設運営に努める。
- ② 文書や訪問による広報に加え、リーフレットやホームページの更新などにより、施設への理解と利用促進を図る。
- ③ 専門性を高めるための職員研修を積極的に進める。
- ④ 常に施設・設備の安全点検を行い、防災・安全対策に万全を期す。

#### (4) 重点努力目標

- ① 幼児教育（保育所・幼稚園児）のための野外活動を推進する。
- ② 主催事業の「ファミリーキャンプ体験版」等において、野外活動と家族間交流活動への興味・関心を高められるような企画運営を行う。

③ 障害のある児童生徒やその関係者の野外活動体験を推進する。

④ 各種団体・子ども会等に野外活動体験を推進する。

⑤ 所員の研修活動を推進する。

- ・心身にハンディを有する方に対する活動プログラム及び施設整備の充実についての研修
- ・利用者へのアンケート実施
- ・野外活動の効果分析及び評価方法の検討
- ・野外活動プログラムの研究開発
- ・年間を通した恒常的プログラム
- ・心身の発達段階に応じたプログラム

⑥ 児童生徒に豊かな体験の場を提供するために学校との連携・融合を図り、豊かな心の育成と生きる力を育む体験活動に対する支援・協力するセカンドスクールの活用事業を推進する。

⑦ その他

- ・特に冬期間のPRに努める。
- ・より効果的な利用者へのサービスのあり方を推進する。

#### (5) 利用団体について

- ① 「指導者または責任者がはっきりしていて、活動計画のもと利用する団体及びグループ」の方針にのっとり、特に、学校週5日制実施に伴い地域活動及び家族で気軽に利用できるように努める。
- ② 学校の夏季休業中以外の、日帰り利用の促進を図る。ただし、宿泊利用者の妨げにならないようにする。
- ③ 持ち込みテント利用は通年とし、利用者のニーズに柔軟に対応できるようにする。

#### (6) 利用団体への対応について

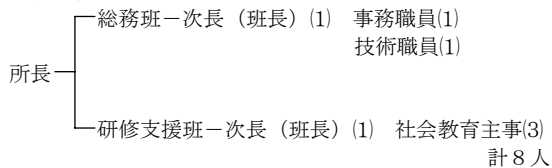
- ① 利用団体との事前打合せを十分行い、団体の目的に応えられるよう支援していく。
- ② 標準生活時程表を基本とするが、可能な範囲内で柔軟に対応する。
- ③ 利用団体の自主性を尊重した活動になるよう支援していく。

#### (7) 活動プログラムについて

- ① 自然体験や自然に親しむ活動のふれあいを通して、連帯感を育てるよう支援していく。
- ② 自然環境を活かした活動プログラムの開発に努める。
- ③ 地域（東松島市、宮戸漁協等）との関わりのある活動プログラムを推進するとともに、一層の開発に努める。

3 組織と予算

(1) 職員の構成



(2) 予算（単位：千円）

項目	金額
管理費	32,665
事業費	2,326
施設設備費	2,932
合計	37,923

(3) 収容人数

キャンプ場（テント）750人  
宿泊室 96人

4 事業概要

(1) 主催事業 第5-38表

No	事業名	期日	対象及び参加人数	ねらいと内容
1	アウトドアセミナーⅡ	6.18(土)～19(日)	野外活動・スポーツ愛好者(17人)	野外活動を通して参加者相互の交流を図り、多くの県民が健康・体力づくりへの関心と意欲を高められるような指導者の資質向上を図る。
2	シニアのためのアウトドア入門	6.4(土)～5(日)	野外活動・スポーツ愛好者スポーツ活動団体指導者(30人)	野外活動及びニュースポーツの体験活動を通して、参加者相互の交流を図り、健康・体力づくりへの関心と意欲を高められるような指導者の資質向上を図る。 ・釣り、ハイキング、グラウンド・ゴルフ、マレットゴルフ等
3	MAP（みやぎアドベンチャープログラム）体験会	5.24(火)	社会教育関係者(19人)	他者との関わりや自己との対話などを通して、人間的成長を図る冒険プログラムを体験する。
4	ファミリーキャンプ奥松島	7.9(土)～10(日)	県内在住の家族(142人)	施設の常設テントに宿泊し、家族でキャンプ生活を体験することにより、野外活動への関心と意欲を高める。 ・釣り、サイクリング、野外炊飯、クラフト等
5	ハートフル潮風	8.20(土)～21(日)	心身に障害のある児童・生徒とその親(67人)	障害のある児童生徒を対象に、学校週五日制を積極的に活用し、異年齢集団の中で仲間やボランティアとの豊かな体験活動等による学校外活動の機会や場を提供することによって、自主性や協調性、社会性を伸長する。 ・地引き網、砂遊び、野外炊飯、クラフト等
6	アウトドアフェスティバル	10.2(日)	県民一般(121人)	各種野外活動から自分で選択したものを体験することにより、自然の良さを実感し、健康や体力づくりへの関心と意欲を高める。 ・釣り、ウォークラリー、ニュースポーツ等
7	自然の家オープンデー	10.2(日)	県民一般(121人)	松島野外活動センターを広く子どもや家族等に開放し、ハイキング、サイクリング、自然観察、ニュースポーツなどを通して、センターへの理解と利用の促進を図る。
8	MAP講習Ⅰ MAP出前体験会	10.5(水)～7(金) 2.6(日)	社会教育関係者(11人) 同上(16人)	社会教育関係者を対象として、MAP事業の普及と地域の指導者養成の推進を図る。 当センター職員による出前（移動）体験会を行う。
9	海釣りのつどい	10.15(土)～16(日)	小学4年生以上の子供とその親及び成人釣り愛好者(70人)	奥松島の景観を堪能しながら船釣りの楽しさを味わい、親子のふれあいや他家族との交流・親睦を深める。 ・船釣り、釣りの情報交換会
10	鳴瀬ふるさと教室 (鳴瀬教育委員会共催)	I:11.8(火)～9(水) II:11.10(木)～11(金)	鳴瀬町内小学4年生全員(117人)	宿泊体験を通して、町の歴史と生活を学びながら、ふるさとに生きる連帯感と郷土愛を育てる。 ・ふるさと体験学習（海苔づくり、カキむき体験）
11	親子でチャレンジ	12.10(土)～11(日)	県内在住の家族(63人)	宮戸島で収穫される冬の味覚を親子で賞味しながら、親子のふれあいや他家族との交流・親睦を深める。 ・海苔づくり、カキむき体験
12	おい！SEA 冬の奥松島	2.18(土)～19(日)	県内在住の家族(70人)	冬の奥松島の産品について理解を深め、味わいながら交流を深める。 ・海苔づくり、クラフトづくり、海鮮バーベキュー等

(2) 利用状況 第5-39表

項目 月	開所日数 (日)	利用日数 (日)	宿泊可能日数 (日)	宿泊利用日数 (日)	利用団体数 (団体)	利用者実数					利用者延人数 (人)	宿泊利用者延人数 (人)	宿泊者延人数 (人)	日帰り研修	
						利用者延人数								団体数 (団体)	延人数 (人)
						中学生以下 (人)	高校生等 (人)	引率者 (人)	一般 (人)	合計 (人)					
4月	26	26	22	21	35	297	1,153	146	71	1,667	2,879	2,169	1,202	13	710
						547	2,003	231	98	2,879					
5月	26	26	21	19	41	983	666	101	451	2,201	3,861	3,168	1,680	16	693
						1,713	1,153	205	790	3,861					
6月	26	26	21	21	38	648	227	153	207	1,235	2,408	2,124	1,171	7	284
						1,271	452	289	396	2,408					



7月	27	27	21	21	54	1,222	163	392	550	2,327	4,461	4,106	2,191	8	355
						2,278	414	779	990	4,461					
8月	26	26	22	22	75	773	665	213	268	1,919	4,353	4,302	2,410	3	51
						1,631	1,758	436	528	4,353					
9月	26	26	21	19	58	1,439	354	338	640	2,771	4,057	2,430	1,281	29	1,627
						2,118	633	611	695	4,057					
10月	26	24	20	15	44	683	316	197	492	1,688	2,467	1,617	749	25	850
						1,039	530	326	572	2,467					
11月	26	24	22	14	56	717	165	76	298	1,256	1,841	1,203	583	40	638
						1,046	243	133	419	1,841					
12月	24	11	15	6	13	80	129	14	123	346	673	561	210	2	112
						155	286	34	198	673					
1月	24	12	20	8	18	196	9	32	151	388	736	623	343	7	113
						479	11	70	176	736					
2月	24	11	20	6	10	140	103	31	128	402	679	598	276	4	81
						264	161	60	194	679					
3月	25	22	20	15	31	320	276	84	138	818	1,628	1,398	797	17	230
						618	701	166	143	1,628					
累計	306	261	245	187	473	7,178	3,950	1,693	3,379	16,200	30,043	24,299	12,893	171	5,744
						13,159	8,345	3,340	5,199	30,043					

## 第9節 宮城県蔵王自然の家

### 1 目標

#### ○教育目標

- (1) 蔵王の雄大な自然の中での体験を通して、心豊かでたくましく生きる力を備えた少年、即ち、
- ① 自然の美しさに感動し、自然を大切にす少年
  - ② 何事にもくじけない、強い意志と体力を持つ少年
  - ③ 互いに協力し、自ら生活を工夫し、他人を思いやる心を持つ少年の育成に努める。
- (2) 社会教育施設として、広く県民の利用をととして生涯学習社会の構築に寄与する。

#### ○生活の指標

教育目標の達成を目指し、少年たちの自主的な活動をととして、「規律」「協同」「友愛」「奉仕」のこころをはぐくむことを生活指標とする。

#### (1) 規 律

自然の家の使い方や、自分たちで定めた約束を守り、みんなで楽しい生活をするための、集団生活の仕方を学ぶ。

#### (2) 協 同

自分たちの仕事に責任を持ち、互いに力を出し合って一つの活動をなし遂げ、助け合うことの大切さを学ぶ。

#### (3) 友 愛

協同生活をととして友達の良さを知り、お互いの存在を認め合うことの大事さに気づき、他人を思いやることの大切さを学ぶ。

#### (4) 奉 仕

自然の美しさを守るための行動及びスムーズな集団生活ができるよう進んで活動をし、他人のために仕事をすることの楽しさを学ぶ。

### 2 目標達成のための指針

#### (1) 教育内容の充実

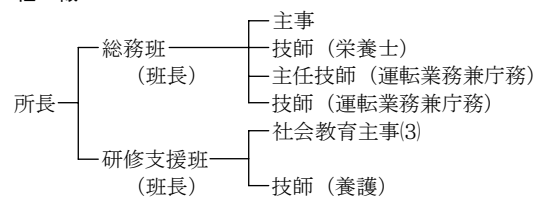
- ① 利用団体の主体的活動を進めるプログラム作成への支援及び学校週5日制への対応を推進する。
- ② 生涯学習社会の観点から、多様な利用に対応できるプログラムの開発やボランティアの養成に努める。
- ③ 魅力ある活動コースを開発・整備し、野外活動の活性化を図る。
- ④ 時代に対応した施設利用のあり方について工夫改善を図る。

#### (2) 広報活動の充実

- ① 施設の理解と利用の促進を図るため、広報活動を積極的に進める。
  - ② 社会教育諸団体及び関係機関との連携を深め、広く情報の提供に努める。
  - ③ 利用者向け「主催事業一覧」や「利用の手引き」等を作成し利用の促進を図る。
- (3) 施設・設備の整備、充実
- ① 活動しやすい設備の工夫と快適で清潔な環境づくりに努める。
  - ② 常に施設・設備の安全点検を行い、事故防止に万全を期する。

### 3 組織と予算

#### (1) 組 織



#### (2) 予 算

項 目	金 額 (千円)
管 理 運 営 費	45,979
事 業 費	2,762
施 設 整 備 費	2,192
拡 張 整 備 費	0
合 計	50,933

### 4 事業概要

(第5-40表参照)

(1) 主催事業 第5-40表

① 小・中学生を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参加者		事業内容
				実人数	延人数	
1	みんなでやろうね14日間	7.29(金) ～8.11(木)	小学5年～ 中学3年	29		蔵王の大自然の中で、異年齢の集団による野外活動等の長期自然体験を通して、たくましく生き抜く力を育むとともに、青少年の長期自然体験活動の一層の定着と普及を図る。
2	チャレンジin蔵王	7.9(土)～10(日) 8.8(月) ～11(木)	小学5年～ 小学6年 40名	28	168	蔵王の雄大な大自然の中で、長期間のキャンプ生活や野外活動を通してたくましく、主体的・自主的な生活をさせ、生きる力を育む。
3	ハーモニーin蔵王	9.24(土)～ 9.25(日)	ハンディキャップ を持つ子と親とボ ランティア	46	80	ハンディキャップのある子と健常者が、蔵王の大自然の中で、触れ合いや語り合いを通して、交流を深め、豊かな人間性を培う。

② 家族を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参加者		事業内容
				実人数	延人数	
1	新緑親子のつどい	4.29(金)～ 4.30(土)	小学生以上 親子30組 100名	103	206	蔵王の自然に親しむと共に、植物観察等を通して、親子の触れ合い、他家族との交流親睦を図る。
2	夏山親子のつどい	8.20(土)～ 8.21(日)	小学生以上 親子30組 100名	100	200	蔵王の自然の中で、野外生活に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。
3	紅葉親子のつどい	10.15(土)～ 10.16(日)	小学生以上 親子30組 100名	64	128	野外活動を通して、秋の自然に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。
4	白銀親子のつどい	2.11(土)～ 2.12(日)	小学生以上 親子30組 100名	98	196	冬山の美しさにふれながら、雪遊びや歩くスキーを楽しみ、親と子の絆を深めるとともに他家族との交流・親睦を図る。

③ 大学生・社会人・指導者を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参加者		事業内容
				実人数	延人数	
1	野外教育施設ボランティア養成講座	5.8(土)～ 5.9(日)	大学生・社会人	38	76	蔵王自然の家でのボランティア活動の希望者が、フィールドワークの基礎的技術を習得し、利用者への支援が、円滑にできるようにする。
2	みやぎアドベンチャープログラム体験会	5.29(土)	社会教育主事 青少年教育指導者 等	45	45	社会教育関係者(社会教育主事、青少年教育指導者)を対象にして、地域の指導者を育成するとともに、『みやぎアドベンチャープログラム』の普及と推進を図る。
3	スキー指導者研修会	1.8(日)	利用団体活動引率 者及び大学生・社 会人	50	50	冬季間の自然の家におけるスキー活動の指導希望者および引率者を対象に、子供たちへのスキー指導の心構えと指導場所等の確認をし、資質の向上を図る。
4	野外活動指導者研修会	8.17(水)～ 8.18(木)	教職員	22	44	学校の教職員が、野外活動の基礎的技術等の習得を通して、資質の向上を図る。
5	利用事前研修会	4.13(火)～ 4.14(水)	4月～7月利用の 学校	58	116	自然の家の利用の仕方、活動プログラムの立案、野外活動の指導方法等について研修を深めるとともに、同期日利用団体相互の各種調整を行う。
		6.26(金)～ 6.27(土)	8月～10月利用の 学校	39	64	
		7.4(日)	7～8月利用の子 ども会・各団体・ 幼稚園	63	63	
		1.9(火)	冬(スキー)利用 の学校・各種団体	82	82	

(2) 利用状況 第5-41表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	23	21	20	15	22	822	0	58	95	975	2,117	2,069	910	7	48
						1,754	0	123	240	2,117					

5月	27	28	22	18	254	1,648	3	132	48	1,831	4,697	3,815	2,498	217	872
						3,814	9	344	530	4,697					
6月	27	27	21	21	70	1,501	0	159	77	1,737	5,007	4,765	2,932	32	242
						4,208	0	458	341	5,007					
7月	28	26	22	21	55	1,017	64	182	206	1,469	3,869	3,200	1,788	23	669
						2,613	158	467	631	3,869					
8月	28	21	22	18	56	499	36	95	110	740	2,279	2,019	1,279	24	130
						1,528	93	224	434	2,279					
9月	28	28	25	22	92	2,342	0	260	22	2,624	6,875	6,548	3,915	49	327
						6,141	0	680	54	6,875					
10月	27	27	23	20	65	515	0	56	101	672	2,019	1,708	1,029	46	311
						1,445	0	149	425	2,019					
11月	26	18	19	7	33	97	0	10	14	121	655	452	331	28	203
						441	0	29	185	655					
12月	24	7	18	1	7	9	0	0	8	17	76	34	17	6	42
						18	0	0	58	76					
1月	27	23	25	21	43	863	0	146	105	1,114	3,132	3,009	1,895	12	278
						2,345	0	377	410	3,132					
2月	25	24	21	19	52	1,713	33	333	426	2,505	5,695	5,213	3,190	17	482
						4,265	72	792	566	5,695					
3月	25	17	21	7	21	57	91	17	129	294	641	577	347	17	64
						107	273	41	220	641					
累計	315	265	259	190	770	11,083	227	1,448	1,341	14,099	37,062	33,409	20,131	478	3,668
						28,679	605	3,684	4,094	37,062					

## 第10節 宮城県志津川自然の家

### 1 目 標

- (1) 「健康・規律・友愛・奉仕」の心を育む青年の家の実現をめざす。
- (2) 研修生との触れ合いを大切にし、研修生自らが積極的に学ぶことができる環境づくりに努める。
- (3) 施設の果たす役割を十分に認識し、心豊かな実践力のある青少年の育成を図る。

### 2 目標達成のための指針

- (1) 海洋型青年の家としての特色ある主催事業の推進
  - ア 青少年に活動と交流の場を提供するとともに、長期的な視点に立って、多様化した青少年の学習活動を支援促進する。
  - イ 志津川湾の恵まれた自然条件のもと、海の魅力に触れ、環境問題等について考える事業を推進する。
  - ウ 海洋型施設を支援するボランティアを育成するとともに、地域の指導者の活用を積極的に図る。
  - エ 児童・生徒の「生きる力」を育み、学校週5日制に対応して共同宿泊体験事業を推進する。
- (2) 研修生の自主的な研修活動に対する効果的な支援
  - ア 事前打合せを綿密に行い、利用者の研修目的に沿った計画の作成を支援する。
  - イ 研修時は、安全に留意して事故防止に万全を期し、研修効果を高めることに配慮する。
  - ウ 地域との連携を密にし、必要な情報の収集と発信に努め、利用者の多様な活動を支援する。
  - エ 学社融合を推進し、セカンドスクールとしての利用や「総合的な学習の時間」の活動を積極的に支援する。

- オ 利用者の多様な要望に対応できる幅広い研修プログラムを研究・開発する。
- カ MAP（みやぎアドベンチャー・プログラム）の指導者養成に努める。
- (3) 利用者の立場に立ったサービスの向上
  - ア 研修生には誠意をもって対応し、笑顔をやささないよう心がける。
  - イ 施設の理解と利用の促進を図るため、広報活動に力を入れる。
  - ウ 施設環境の整備に力を注ぐ。
  - エ 専門性を発揮するための職員研修を積極的に進める。

### 3 組織と予算

#### (1) 職員組織

所長 — 総務班一次長（班長）(1)・主査(1)  
技師(2)  
研修支援班一次長（班長）(1) 社会教育主事(2)  
計 8 人

#### (2) 予 算

項 目	金 額 (千円)
管 理 経 費	28,937
主 催 事 業 費	2,043
施 設 整 備 費	1,762
合 計	32,742

#### (3) 収容人数

宿泊定員100人

4 事業概要

(1)主催事業 第5-42表

No.	事業名	期 日	実 績	ねらい・主な研修内容
1	MAP体験会	6月1日(火)	社会教育関係者 24人	青少年の健全育成に資するために地域の指導者を育成し、「みやぎアドベンチャープログラム」の普及と推進を図る。 ・講義、アイスブレイキング等
2	ヨット&マリンスポーツ	第1回 6月18日(土)～19日(日) 第2回 7月9日(土)～10日(日) 第3回 9月10日(土)～11日(日)	青年(高校生以上) 1回目 28人 2回目 25人 3回目 22人	ヨットやシーカヤックなどの操作技術を習得し、マリンスポーツを体験することによって、海の魅力や自然の雄大さにふれる。 ・講義(ヨット機装, 操作, 海の交通規則) ・実技(ヨット機装, 操作, シーカヤック体験)
3	心と心のふれあい IN志津川	8月19日(金)～21日(日)	小, 中, 高ボランティア43人 障害を持つ児童生徒 21人 障害を持つ児童生徒の保護者 2人	地域の教育力を活性化し, 奉仕活動・体験活動の充実を図るため, 小・中・高校生が, 障害を持つ児童生徒とのふれあい交流活動を通して, 障害についての理解を深め, 福祉ボランティア活動の大切さを体験する機会を設ける。 また, 障害を持つ児童生徒が, 海洋型青年の家の特性を生かした海の活動を通して, 週末活動の楽しさを味わう機会を設ける。 (洋上巡り, ドラゴンボート, ほや・ホタテ水揚げ, ホタテ剥き体験, キャンドルサービス等)
4	サマー・アドベンチャー IN海青	8月9日(火)～11日(木)	小学5年生～中学2年生 51人	志津川湾を中心とした自然体験や宿泊体験をすることによって大自然の素晴らしさにふれるとともに, 集団生活を通して友達と協力することの大切さを学び, 心豊かでたくましい児童, 生徒の育成を図る。 (無人島探検, いかだ遊び, 野外炊飯, キャンドルサービス等)
5	スキューバで海中散歩	8月27日(土)～28日(日)	一般成人 30人	スキューバダイビングで海中の生き物に出会ったりすることにより, マリンスポーツの魅力を存分に味わい, 海を愛する心を育てる。(スキューバダイビング体験等)
6	オースタムIN海青 ～秋の自然に親しむ～	10月15日(土)～16日(日)	一般成人 28人	野島の森でのキノコや植物の観察, 磯の散策, 海岸での釣り等を通して, 自然の素晴らしさや大切さを学び関心を高める。 (里山散策とキノコ採集, わかさぎ釣り等)
7	海の味覚をさぐる ～魚料理に挑戦～	第1回 11月12日(土)～13日(日) 第2回 1月14日(土)～15日(日)	1回目 親子 46人 2回目 一般成人 40人	志津川湾の海の幸を親子や仲間調理し, 賞味して, 海の恵みの素晴らしさを知る。さらに, 養殖施設の見学や実体験によって漁業への理解を深め, 自然環境を考える機会とする。(イカ燻製作り, カキ・ホタテ剥き体験, シーフードバーベキューと神崎崎鍋等)
8	ジュニア・リーダー 上級研修会	12月24日(金)～26日(日)	ジュニアリーダー中級取得者 55人	心身ともに健やかな児童の育成をねらいとした子ども会活動の振興を図るため, 子ども会の直接的な指導に当たる年少指導者に子ども会活動等に必要な知識・技能・態度等についての研修を行う。(講義, 救急法, 創作活動等)

(2)利用状況 第5-43表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	27	22	24	18	15	258	366	67	71	762	1,830	1,830	1,068	0	0
						689	744	155	242	1,830					
5月	27	23	23	18	21	922	4	88	150	1,164	2,842	2,762	1,678	4	80
						2,351	8	220	263	2,842					
6月	28	27	24	22	29	843	4	139	75	1,061	2,719	2,603	1,658	4	116
						2,247	8	353	111	2,719					
7月	27	27	22	19	29	726	135	219	146	1,226	2,693	2,585	1,467	1	108
						1,716	328	465	184	2,693					
8月	27	27	23	22	26	520	102	80	132	834	2,200	2,192	1,366	1	8
						1,328	297	217	358	2,200					
9月	26	22	22	16	22	602	105	127	56	690	1,904	1,874	1,014	2	30
						1,320	210	265	109	1,904					
10月	26	22	21	14	12	87	1	35	125	248	557	526	309	1	31
						222	2	89	244	557					

11月	26	11	22	6	8	178	1	62	67	308	614	570	306	1	44
						319	2	117	176	614					
12月	24	11	19	6	6	31	50	22	108	211	467	467	256	0	0
						62	145	44	216	467					
1月	24	12	20	8	6	49	25	18	42	134	319	319	185	0	0
						103	91	41	84	319					
2月	24	8	20	4	6	34	0	11	76	121	223	204	102	1	19
						68	0	22	133	223					
3月	27	14	23	9	9	164	29	41	13	247	524	524	277	0	0
						328	58	82	56	524					
累計	313	226	263	162	189	4,414	822	909	1,061	7,206	16,892	16,456	9,686	15	436
						10,753	1,893	2,070	2,176	16,892					